

Panasonic®

取扱説明書

ウェアラブルカメラ

品番 **AG-WN5K1**



保証書付き

安全上のご注意

準備

撮影

Wi-Fi

大事なお知らせ

このたびは、パナソニック製品をお買い上げいただき、まことにありがとうございます。

- 取扱説明書をよくお読みのうえ、正しく安全にお使いください。
- ご使用前に「安全上のご注意」「(重要)防水 / 防じんについて」(3 ~ 10 ページ)を必ずお読みください。
- 保証書は「お買い上げ日・販売店名」などの記入を確かめ、取扱説明書とともに大切に保管してください。



HDMI

SQT1406-1
F1016SQ1037

目次

「安全上のご注意」を必ずお読み
ください(3~9ページ)

準備

(重要) 防水 / 防じんについて	10
付属品	11
必ずお読みください	12
各部の名前	13
電源の準備	14
● バッテリーを充電する (14)	
● 充電時間 / 通電時間 / 撮影可能時間 の目安 (15)	
カードの準備	16
● 本機で使えるカード (16)	
● microSD カードを入れる / 出す (17)	
電源を入れる / 切る	18
● 高温異常検知について (18)	
時計を設定する	18
メニュー設定する	19
セットアップメニューを使う	20

撮影

撮影前の確認	23
● 本機を装着する (23)	
撮影する	29
撮影モードを切り換える	31
メニュー設定して撮影機能を使う	32
テレビにつないで見る	36

Wi-Fi

Wi-Fi® 機能について	37
Wi-Fi 接続するには	38
● 無線アクセスポイントと接続する (39)	
● 相手機器の IP を設定する (43)	
Wi-Fi モードを選ぶ	44
Wi-Fi 設定メニューを使う	46

大事なお知らせ

画面の表示	47
● パソコンでの表示について (48)	
メッセージ表示	49
● 修復について (49)	
故障かな! ? と思ったら	50
無線 LAN 使用上のお願い	51
使用上のお願い	52
本機を廃棄するときのお願い	56
著作権について	58
写真の記録可能枚数の目安	59
記録可能時間の目安	60
仕様	61
保証とアフターサービス (よくお読みください)	63
さくいん	65
無料修理規定	67
保証書	裏表紙

人への危害、財産の損害を防止するため、必ずお守りいただくことを説明しています。

■ 誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を区分して、説明しています。



危険

「死亡や重傷を負うおそれ大きい内容」です。



警告

「死亡や重傷を負うおそれがある内容」です。



注意

「軽傷を負うことや、財産の損害が発生するおそれがある内容」です。

■ お守りいただく内容を次の図記号で説明しています。(次は図記号の例です)



してはいけない内容です。



実行しなければならない内容です。



警告



■ 本体（バッテリー内蔵）を、加圧、加熱、火の中へ入れたりしない

■ 本体（バッテリー内蔵）を電子レンジやオーブンなどで加熱しない

発熱・発火・破裂の原因になります。

- 不要（寿命）になったバッテリーについては、56～57ページをご参照ください。



異常・故障時には直ちに使用を中止する

異常があったときには、リセットボタンを押す

- ・煙が出たり、異常なおいや音がする
- ・映像や音声が出ないことがある
- ・内部に水や異物が入った
- ・電源プラグが異常に熱い
- ・本体や AC アダプターが破損した

そのまま使うと火災・感電の原因になります。

- ACアダプターを使っている場合は、電源プラグを抜いてください。
- 電源プラグがすぐ抜けるよう、本機は電源コンセントに容易に手が届く位置に設置してください。

警告



内部に金属物を入れたり、水などの液体をかけたりぬらしたりしない

ショートや発熱により、火災・感電・故障の原因になります。

- 本機の近くに水などの液体の入った容器や金属物を置かないでください。



可燃性・爆発性・引火性のガスなどのある場所で使わない

火災や爆発の原因になります。

- 粉じんの発生する場所でも使わないでください。



メモリーカードは、乳幼児の手の届くところに置かない

誤って飲み込むと、身体に悪影響を及ぼします。

- 万一、飲み込んだら、すぐに医師にご相談ください。



接触禁止

雷が鳴り出したら、本機の金属部や AC アダプターなどの電源プラグに触れない

感電の原因になります。

- 本体には、金属部があります。



コンセントや配線器具の定格を超える使い方や、交流 100 V ~ 240 V 以外での使用はしない

たこ足配線等で、定格を超えると、発熱による火災の原因になります。



電源プラグを破損するようなことはしない
(傷つける、加工する、熱器具に近づけるなど)

傷んだまま使用すると、感電や、ショートによる火災の原因になります。

警告



装着した状態で自動車を運転しない

事故の誘発につながります。

- 歩行中でも周囲の状況、路面の状況に十分注意する。



電源を入れたまま長時間、直接触れて使用しない

本機の温度の高い部分に長時間、直接触れていると低温やけど^{*}の原因になります。正しい装着方法でお使いください。

^{*}血流状態が悪い人（血管障害、血液循環不良、糖尿病、強い圧迫を受けている）や皮膚感覚が弱い人などは、低温やけどになりやすい傾向があります。



分解、改造をしない

（製品廃棄時に充電式電池を取り出すための分解は除く）

分解禁止

内部には電圧の高い部分があり、感電の原因になります。



ぬれた手で、電源プラグの抜き差しはしない

感電の原因になります。

ぬれ手禁止



電源プラグは根元まで確実に差し込む

差し込みが不完全ですと、感電や発熱による火災の原因になります。

- 傷んだプラグ・ゆるんだコンセントは、使わないでください。



電源プラグのほこり等は定期的にとる

プラグにほこり等がたまると、湿気等で絶縁不良となり、火災の原因になります。

- 電源プラグを抜き、乾いた布でふいてください。



航空機内では電源を切る※

運航の安全に支障をきたすおそれがあります。

※ やむをえずこのような環境でカメラ本体を使用するときは、無線LAN機能を使用しないでください。ただし、航空機の離着陸時など、カメラ本体の使用が禁止されている場合もありますので注意してください。



満員電車の中など混雑した場所では、付近に心臓ペースメーカーを装着している方がいる場合があるので、電源を切る

本機からの電波がペースメーカーの作動に影響を与える場合があります。



自動ドア、火災報知機などの自動制御機器の近くでは電源を切る

本機からの電波が自動制御機器に影響を及ぼすことがあり、誤動作による事故の原因になります。



心臓ペースメーカーを装着している方は装着部から 15 cm 以上離す

本機からの電波がペースメーカーの作動に影響を与える場合があります。



カメラ / 本体接続ケーブルが周囲の物に引っかかったり、はさまらないように装着する

事故の誘発につながったり、けがの原因になります。

- カメラを自転車、本体を身体、といったように別々の場所に取り付けて使用しないでください。

警告



本機を装着した状態での接触はさける

カメラ部、本体部、もしくは、ヘッドマウントによる圧迫で、けがの原因になります。

- カメラ装着中は、周囲の状況に十分注意してください。



カメラ / 本体接続ケーブルが首や腕に巻きつくような装着をしない

締め付けられ、けがの原因になります。



ヘッドマウントを締め付けすぎない

圧迫により、けがの原因になります。

- ヘッドマウントのサイズを調整してください。



カメラ / 本体接続ケーブルを破損するようなことはしない (傷つける、加工する、熱器具に近づける、無理に曲げる、ねじる、引っ張る、重い物を載せる、束ねるなど)

傷んだまま使用すると、感電や、ショートによる火災の原因になります。



ヘッドホン使用時は、音量を上げすぎない

耳を刺激するような大きな音量で長時間続けて聴くと、聴力が大きく損なわれる原因になります。

⚠ 注意



レンズを太陽や強い光源に向けたままにしない

集光により、内部部品が破損し、火災の原因になることがあります。



本機の上に重い物を載せたり、乗ったりしない

倒れたり落下すると、けがの原因になることがあります。
また、重量で外装ケースが変形し、内部部品が破損すると、火災・故障の原因になることがあります。



異常に温度が高くなるところに置かない

特に真夏の車内、車のトランクの中は、想像以上に高温（約 60 ℃以上）になります。

本機や AC アダプターなどを絶対に放置しないでください。火災の原因になることがあります。

- また、外装ケースや付属品、内部部品が劣化する原因にもなりますのでご注意ください。



AC アダプターの放熱を妨げない

内部に熱がこもると、火災の原因になることがあります。

- 本棚やラックの中など、狭い空間に設置しない
- 新聞紙、テーブルクロス、カーテンなどで覆って放熱を妨げない



油煙や湯気の当たるところ、湿気やほこりの多いところに置かない

- 電気が油や水分、ほこりを伝わり、火災・感電の原因になることがあります。



長期間使わないときや、お手入れのときは、電源プラグを抜く

通電状態で放置、保管すると、絶縁劣化、ろう電などにより、火災の原因になることがあります。

電源プラグ
を抜く

- カードは、保護のため取り出しておいてください。

注意



病院内や機内では、病院や航空会社の指示に従う

本機からの電磁波などが、計器類に影響を及ぼすことがあります。
予め確認してお使いください。



ヘッドホン接続前に、音量を下げる

音量を上げ過ぎた状態で接続すると、突然大きな音が出て耳を傷める原因になることがあります。

- 音量は少しずつ上げてご使用ください。

(重要) 防水 / 防じんについて

本機のカメラ部のみ防水 / 防じん仕様です。

防水 / 防じん性能

IP58 に相当し、水深 3.0 m/30 分までの使用に耐え得る性能を擁しています。※

すべての状態において無破壊、無故障、防水を保証するものではありません。

※ 当社の定める取り扱い方法、指定時間および指定圧力の水中で使用できることを意味しています。




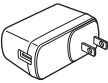
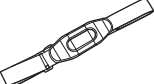

■ 取り扱いについて

- 本機（カメラ部）をぶつけたり、落下させたりなどの衝撃を与えた場合、防水性能は保証いたしません。本機（カメラ部）に衝撃が加わった場合は、お買い上げの販売店にご相談のうえ、防水性能が保たれているかの点検（有料）をお勧めします。
- 洗剤、石けん、温泉、入浴剤、日焼けオイル、日焼け止め、薬品などの飛まつがかかったときは、速やかにふき取ってください。
- 水道水など流水で洗わないでください。
- 本機（カメラ部）の防水機能は海水と真水にのみ対応しています。
- お客様の誤った取り扱いが原因の浸水などによる故障は保証対象外となります。（P63）
- 本機（カメラ部）を寒冷地での低温下（標高の高いところなど）、または、高温になるところ（特に強い太陽光の当たるところ、炎天下の自動車内、暖房機の近く、船上、砂浜など）に長時間放置しないでください。（防水性が保てなくなります）
- 本機（カメラ部）に水滴などの液体が付着した場合は、柔らかい乾いた布でふき取ってください。

付属品



以下の付属品がすべて入っているかお確かめください。
記載の品番は、2016年10月現在のものです。

<input type="checkbox"/> 収納ケース DVYE1010ZA 	<input type="checkbox"/> ヘッドマウント (L) ※ SYA0004 
<input type="checkbox"/> ヘッドマウント (R) ※ SYA0006  ● ゴムバンドは、ヘッドマウント (R) に同梱しています。	<input type="checkbox"/> ゴムバンド SFC0159 
<input type="checkbox"/> USB 接続ケーブル K2KYYYY00221 	<input type="checkbox"/> USB 接続ケーブル (アングル) K2KYYYY00259 
<input type="checkbox"/> AC アダプター VSK0815J 	<input type="checkbox"/> ヘッドバンド SYQ0825 
<input type="checkbox"/> マルチマウント RD-SGM01M-A 	

※ ヘッドマウントの組み立て方法については26ページをお読みください。

- 包装材料は商品を取り出したあと、適切に処理をしてください。
- 小物部品については乳幼児の手の届かないところに適切に保管してください。

必ずお読みください

■ 本機の記録方式と互換性について

本機は高精細なハイビジョン映像を記録する MP4 方式 (MPEG-4 AVC ファイル規格) のウェアラブルカメラです。「記録スクランブル設定」が「スクランブルオフ」の場合)

- AVCHD 規格や MPEG2 動画とは規格方式が異なりますので、互換性はありません。

microSD カード紛失時のデータ漏えいを防止するために、本機では撮影した動画や写真のデータを特定の方法で変換 (スクランブル化) することができます。

- スクランブル化されたデータを再生するためには、対応のソフトウェアにてスクランブル解除する必要があります。
- データをスクランブル化しない場合は、「記録スクランブル設定」を「スクランブルオフ」にしてください。(P35)

■ 肖像権について

本機のご利用につきましては、被写体のプライバシー・肖像権などに十分配慮のうえ、お客様の責任で行ってください。

■ 事前に必ず試し撮りをしてください

大切な撮影のときには、必ず事前に試し撮りをし、正常に撮影や録音されていることを確かめてください。

撮影内容の補償はできません

本機および microSD カードの不具合で撮影や録音されなかった場合の内容の補償につきましては、当社は一切の責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。

- 本製品の使用、または故障により生じた直接、間接の損害につきましては、当社は一切の責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。また、本機を修理した場合においても同様です。
- 本製品によるデータの破損につきましては、当社は一切の責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。

■ 時計設定について

撮影をする前に、必ず時計設定をしてください。(P18)

■ 本書内の表記、写真、イラストについて

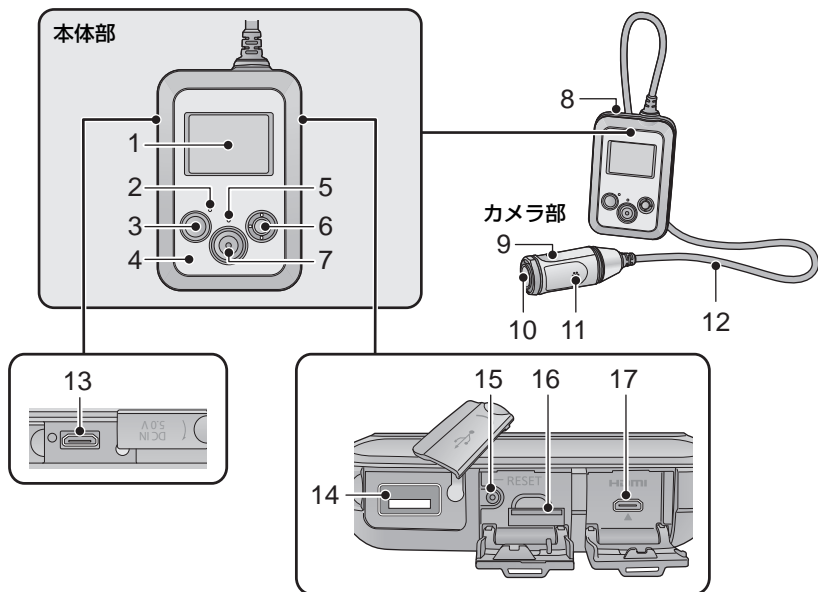
- 本書内の製品姿図・イラスト・画面イラストなどは実物と多少異なりますが、ご了承ください。
- お使いの本機ファームウェアのバージョンによっては、本書での記載の画面と異なる場合があります。
- 本書では以下のように記載しています。
 - － microSD カード、microSDHC カード→「microSD カード」
 - － 参照いただくページ→P00

■ 露付き (レンズや液晶モニターが曇るとき) について

露付きは、屋外や寒い部屋から暖かい部屋に持ち込むなど、温度差や湿度差があると起こります。レンズや液晶モニターの汚れ、かび、故障の原因となりますのでお気をつけください。温度差のある場所へ持ち込むときは、約 1 時間移動先の室温になじませると、露付きを防止することができます。(温度差が激しい場合は、ビニール袋などに本機を入れ、空気を抜き、密閉してください)

露付きが起こった場合、電源を切り、側面扉を開け、約 2 時間ほどそのままにしておいてください。周囲の温度になじむと曇りが自然に取れます。

各部の名前



準備

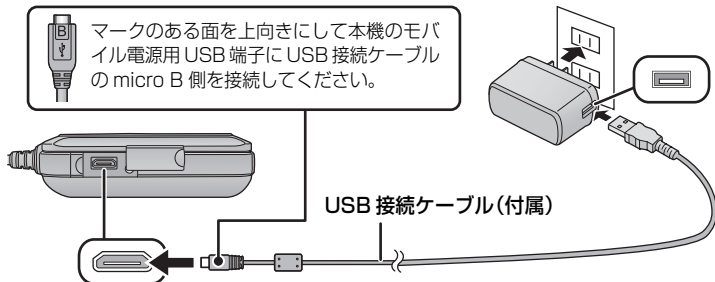
- | | |
|--|---|
| <p>1 液晶モニター</p> <p>2 電源ランプ (P16、18)</p> <p>3 電源ボタン [ON/OFF] (P18)</p> <p>4 Wi-Fi 送信部</p> <p>5 アクセスランプ (P17)</p> <p>6 ジョイスティック
メニュー設定や、Wi-Fi モード使用時などに使用します。上下左右に倒して選び、中央を押して決定します。</p> <ul style="list-style-type: none"> ● メニュー設定する (P19) ● Wi-Fi モードを選ぶ (P44) ● 情報表示画面について (P30) ● ロック機能を使う (P30) <p>7 撮影開始 / 一時停止ボタン (P29)</p> <p>8 マイク / ヘッドホン端子 (P45)</p> | <p>9 カメラ (P26)</p> <p>10 レンズ (P12)</p> <p>11 マイク</p> <p>12 カメラ / 本体接続ケーブル
● このケーブルは取り外しできません。</p> <p>13 モバイル電源用 USB 端子 (P14)</p> <p>14 USB 端子 (拡張用) [●↔]</p> <p>15 リセットボタン [RESET]
● 電源の入 / 切ができないなど、本機が正常に動作しないときなどに、クリップのようなものを使って押してください。</p> <p>16 microSD カード挿入部 (P17)</p> <p>17 HDMI マイクロ端子 (P36)</p> |
|--|---|

電源の準備

バッテリーを充電する

お買い上げ時、バッテリーは充電されていませんので、十分に充電してからお使いください。

- 本機はリチウムイオン充電式電池を内蔵しています。製品廃棄のとき以外は取り外ししないでください。(P56)
- 充電は周囲の温度が 10℃～30℃のところで行うことをお勧めします。



- 1 本機の電源を切り (P18)、側面扉 (モバイル電源用 USB 端子) を開く
 - 電源を入れているときはバッテリーは充電できません。バッテリーを充電するときは本機の電源を切ってから接続してください。
- 2 本機と AC アダプター (付属) を USB 接続ケーブル (付属) で接続する
 - 無理な力を加えずに、奥まで差し込んで接続してください。
- 3 AC アダプターを電源コンセントに差し込む
 - 電源ランプが約 2 秒間隔 (約 1 秒点灯、約 1 秒消灯) で赤色点滅し、充電が始まります。充電が完了すると消灯します。
 - 充電完了後は、本機から USB 接続ケーブルを外してご使用ください。
 - 充電が終わった状態でも、電力を消費しています。長期間使用しないときは、節電のため、AC アダプターを電源コンセントから抜いてください。

お知らせ

- 必ず付属の USB 接続ケーブルをお使いください。(付属品以外をお使いの場合、動作を保証できません)
- バッテリーを満充電しても操作時間が短い場合は、バッテリーが消耗しているため交換が必要です。お買い上げの販売店にご連絡ください。
- USB モバイル電源 (別売) でも充電できます。詳しくは USB モバイル電源の取扱説明書をご確認ください。

充電時間 / 通電時間 / 撮影可能時間の目安

■ 充電時間 / 通電時間 / 撮影可能時間（温度 25℃ / 湿度 60%RH）

バッテリー（本機内蔵）

充電時間	画素数 / フレームレート	連続通電可能時間	連続撮影可能時間	実撮影可能時間
約 2 時間 50 分	1920x1080/60p		約 1 時間 50 分	約 55 分
	1920x1080/30p	約 1 時間 45 分	約 2 時間 5 分	約 1 時間 5 分
	1280x720/60p		約 2 時間	約 1 時間
	1280x720/30p	約 1 時間 45 分	約 2 時間 10 分	約 1 時間 10 分
	848x480/30p	約 1 時間 45 分	約 2 時間 15 分	約 1 時間 10 分
	1920x1080/60fps	約 1 時間 45 分	約 2 時間	約 1 時間
	1280x720/120fps	約 1 時間 50 分	約 2 時間 5 分	約 1 時間 5 分
	848x480/240fps	約 1 時間 45 分	約 2 時間	約 1 時間

- 充電時間はバッテリーを使い切ってから充電した場合の時間です。
高温 / 低温時など、使用状況によって充電時間や通電可能時間、撮影可能時間は変わります。

お知らせ

- 通電可能時間とは、Wi-Fi 機能を使用時に本機で記録せずに使用可能な時間です。
- 連続撮影可能時間と実撮影可能時間とは、Wi-Fi 機能を使用していない状態で本機で撮影可能な時間です。また、実撮影可能時間は、撮影 / 停止、電源の入 / 切などを繰り返したときに撮影できる時間です。
- バッテリー残量が少なくなると、電源ランプが点滅します。（約 1 秒間隔で点滅 [約 0.5 秒点灯、約 0.5 秒消灯]）
- 使用後や充電後は本体部が温かくなりますが、異常ではありません。

バッテリー残量表示について

- バッテリーの残量が少なくなるに従って、 → → → → と表示が変わります。容量がなくなると、 が赤色点滅します。

充電中の電源ランプの点滅について

約 0.5 秒間隔で点滅 (約 0.25 秒点灯、約 0.25 秒消灯) :

- 本機や AC アダプターの USB 端子部にごみや異物、汚れが付着していないか確認し、正しく接続し直してください。
ごみや異物、汚れが付着している場合は、本機の電源を切ってから取り除いてください。
- 本機周囲の温度が極端に高すぎる、もしくは低すぎます。適温になるまで待ってから、再度充電してください。それでも充電できないときは、本機や AC アダプターの故障の可能性があります。

約 4 秒間隔で点滅 (約 2 秒点灯、約 2 秒消灯) :

- バッテリーが過放電されている場合、あるいはバッテリーの温度が高いまたは低い場合です。充電はできますが、場合によっては正常に充電が完了するまでに数時間かかる場合があります。
- 正常な充電になると、約 2 秒間隔の点滅になります。その場合でもご使用の環境により、充電完了までに約 4 秒間隔の点滅になる場合があります。

消灯 :

- 充電が完了しています。

カードの準備

本機は microSD カードに動画や写真を記録することができます。

本機で使えるカード

- 使えるカードは、2016 年 10 月現在のものです。

カードの種類	記録容量
microSD カード	512 MB/1 GB/2 GB まで
microSDHC カード	4 GB/8 GB/16 GB/32 GB まで

- 動画撮影時は、以下の SD スピードクラス^{*}の microSD カードをお使いください。
対応する SD スピードクラス以外の microSD カードをお使いの場合は、撮影が突然停止することがあります。

撮影設定	対応する SD スピードクラス
撮影モードを「スローモーションモード」に設定した場合 (P31)	SD スピードクラス 6 以上
上記以外の場合	SD スピードクラス 4 以上

^{*} SD スピードクラスとは、連続的な書き込みに関する速度規格です。カードのラベル面などでご確認ください。

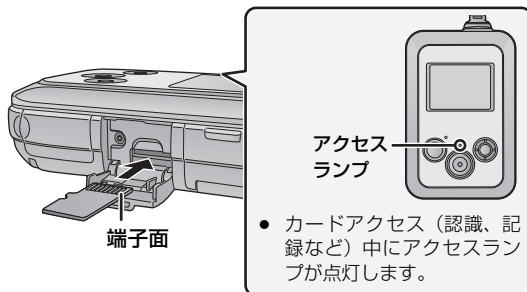
(例) CLASS 4

- microSDHC カードを他の機器で使う場合は、microSDHC カードに対応しているか確認してください。
- すべての microSD カードの動作を保証するものではありません。
- microSDHC ロゴのない 4 GB 以上のメモリーカードは、SD 規格に準拠していないため使用できません。

microSD カードを入れる / 出す

当社製以外の microSD カードや他の機器でお使いになった microSD カードを本機で初めてお使いの場合は、まずフォーマットしてください。(P21)
フォーマットすると、microSD カードに記録されているすべてのデータは消去され、元に戻すことはできません。

アクセスランプの消灯を確認してください。



準備

1 側面扉（microSD カード挿入部）を開き、カード挿入部に microSD カードを入れる（出す）

- 入れるときは端子面を図の方向に向けて、「カチッ」と音がするまでまっすぐ押し込んでください。
- 出すときは、microSD カードの中央部を押し込んで、まっすぐ引き抜いてください。

2 側面扉を閉じる

🔪 お知らせ

- microSD カードの裏の接続端子部分に触れないでください。
- microSD カードの取り扱いについては 54 ページをお読みください。

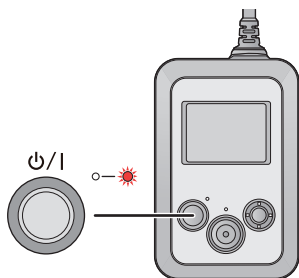
■ アクセスランプについて

- カードアクセス（認識、記録など）中にアクセスランプが点灯します。点灯中に下記の動作を行わないでください。カードのデータが破損したり、本機が正常に動作しなくなることがあります。
 - － microSD カードを抜く
 - － 電源を切る
 - － USB 接続ケーブルを抜き差しする
 - － 振動や衝撃を与える

電源を入れる / 切る

電源ボタンを押して電源を入れる

電源ランプが点灯します。



【電源を切るには】

電源ランプが消灯するまで、電源ボタンを押し続けます。

高温異常検知について

本機使用中に本機内部の温度が上昇すると、メッセージが表示され、自動的に電源が切れます。温度が下がるのを待ってから使用してください。

- 本機の温度が下がるまでは、使用できません。

時計を設定する

お買い上げ時は時計設定はされていません。必ず時計設定を行ってください。

1 ジョイスティックの中央を押し、メニュー設定する (P19)

「セットアップ」 → 「時計設定」

2 ジョイスティックを左右に倒して合わせる項目 (年 / 月 / 日) を選び、上下に倒して数字を合わせる

- 中央を押し、または撮影開始 / 一時停止ボタンを押して決定してください。
- 2000 年から 2039 年まで設定できます。

3 ジョイスティックを左右に倒して合わせる項目 (時 / 分) を選び、上下に倒して数字を合わせる

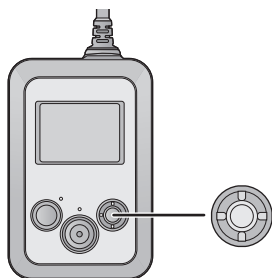
- 中央を押して決定してください。

4 撮影開始 / 一時停止ボタンを押して設定を終了する

🔔 お知らせ

- 電源を入れたとき、「時計を設定してください。」というメッセージが表示される場合があります。「はい」を選んで、手順 2～3 の操作で時計設定をしてください。
- 時刻表示が「—」のときは、内蔵日付用電池が消耗しています。本機のバッテリーが充電された状態のときは、内蔵日付用電池も自動的に充電されます。本機のバッテリーが充電された状態が約 24 時間続くと、内蔵日付用電池は約 4 か月間時計設定を記憶するようになります。

メニュー設定する



準備

- 1 ジョイスティックの中央を
押す 

【前の画面に戻るには】
ジョイスティックを左に倒す

- 2 トップメニューを選び、
中央を押す
トップメニュー

【メニュー設定を終了するには】
撮影開始 / 一時停止ボタンを押す

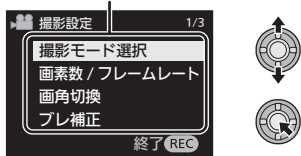
 **お知らせ** -----

- Wi-Fi モードの起動中は、本機でメニュー設定することができません。



- 3 サブメニューを選び、中央を押す

サブメニュー



- 4 項目を選び、中央を
押して決定する



セッアップメニューを使う

ジョイスティックの中央を押してメニュー設定する

「セッアップ」→希望のメニュー項目

時計設定

18 ページをお読みください。

タイムスタンプ

ネットワークへの送信映像と microSD カードへの動画映像に日付時刻を焼き付けます。

- 「撮影モード選択」が「スローモーションモード」または「写真撮影モード」の場合は設定できません。
- 液晶モニターに表示されるタイムスタンプは、送信映像や動画映像に表示されるタイムスタンプとは位置や大きさが異なります。

液晶パワーセーブ

バッテリーの消費を防ぐため、設定した時間内に操作しなかった場合、液晶モニターが消灯し、待機状態になります。

「60 秒」 / 「30 秒」 / 「15 秒」 / 「オフ」

- 以下の操作をすると、待機状態が解除されます。
 - － ジョイスティックを操作する
 - － 撮影開始 / 一時停止ボタンを押す（撮影を開始 / 停止します）
- 「オフ」に設定した場合は、待機状態になりません。
- 撮影を開始すると、約 30 秒後に液晶モニターが消灯します。

自動電源オフ

約 5 分間操作しなかった場合、バッテリーの消費を防ぐため、本機の電源が自動的に切れます。

- Wi-Fi モード時は、自動的に電源が切れません。

液晶明るさ調整

液晶モニターの明るさを調整します。

1) ジョイスティックの中央を押してメニュー設定する

「セットアップ」→「液晶明るさ調整」

2) ジョイスティックを左右に倒して調整し、中央を押す

3) 撮影開始 / 一時停止ボタンを押して設定を終了する

HDMI 出力解像度

HDMI 出力の映像方式を切り換えます。

「オート」 / 「1080p」 / 「1080i」 / 「480p」

- 「オート」は接続したテレビからの情報をもとに、自動的に出力解像度を決定します。「オート」に設定していて映像がテレビに出ないときは、「1080p」、「1080i」または「480p」に切り換えて、お使いのテレビが表示できる映像方式に合わせてください。(テレビの説明書もお読みください)

初期設定

本機の設定をお買い上げ時の状態に戻します。

- Wi-Fi (ネットワーク) の設定は初期化されません。

メディアフォーマット

本機に入っている microSD カード内のすべてのデータが消去されます。大切なデータはパソコンなどに保存しておいてください。

- フォーマット中は電源を切ったり、microSD カードを抜かないでください。また、本機に振動や衝撃を与えないでください。
- パソコンなど他の機器ではフォーマットしないでください。本機で使用できなくなる場合があります。

バージョン表示

本機のファームウェア（ソフトウェア）のバージョンが表示されます。

バージョンアップ

本機のファームウェアのバージョンアップを行います。

バージョンアップについての最新情報は、下記サポートサイトでご確認ください。
<https://panasonic.biz/cns/sav/>

設定値保存

本機のさまざまな設定を microSD カードに保存します。
microSD カードに保存された各種設定は、「設定値反映」によって本機と同じ設定にすることができます。

- 「BACKUP00.HDC」が microSD カードに保存されます。ファイルの消去や編集はしないでください。他機で読み込めなくなったり、正常に機能が動作しない場合があります。

設定値反映

「設定値保存」で microSD カードに保存した設定を本機に反映します。

- 設定を保存した microSD カードを入れてください。
- 反映が完了すると自動的に電源が切れ、再起動します。
- 複数台同設定にする場合は、同じ操作を繰り返してください。

番号リセット

次に撮影される動画と写真のファイル番号を 0001 にします。

- フォルダー番号が更新され、ファイル番号が 0001 から始まります。(P48)
- フォルダー番号をリセットするには、まず microSD カードをフォーマットしてから「番号リセット」を実行してください。

撮影前の確認

本機および USB モバイル電源（別売）を付属の収納ケース、ヘッドマウントおよびヘッドバンドに装着して撮影します。

本機を装着する

本機（本体部 / カメラ部） および USB モバイル電源（別売）を装着します。

- 長時間使用して痛みを感じたり、気分が悪くなった場合は、使用を中断するか、収納ケース / ヘッドマウント / ゴムバンドのサイズを調整し、少し緩めてお使いください。また、装着後にあとが残る場合がありますので、お気をつけください。
- カメラの向きについては、液晶モニターで実際の映像をご確認ください。

装着図
（ヘッドマウント
使用時）



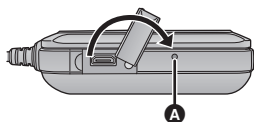
準備

撮影

収納ケースを使って本機（本体部） および USB モバイル電源（別売）を装着する

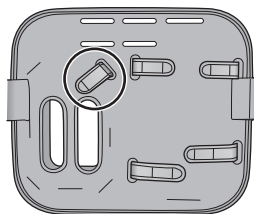
1 側面扉（モバイル電源用 USB 端子）を開く

- 側面扉内側の突起部を穴 **A** に差し込み固定してください。



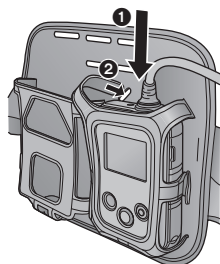
2 本機収納部の面ファスナーを外し、表へ引き出す

（収納ケース部裏）



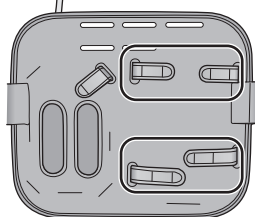
3 本機（本体部）のボタンが見えるように本機（本体部）を入れ、面ファスナーで固定する

- 本機（本体部）を入れるときは、手順1で穴 **A** に固定した側面扉が外れないようにしてください。
- 本機（本体部）は、確実に奥まで入れてください。



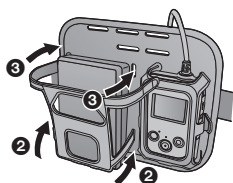
4 USB モバイル電源収納部の面ファスナー (4 か所) を外し、表へ引き出す

(収納ケース部裏)



5 USB モバイル電源収納部に USB モバイル電源 (別売) を入れ、②、③ の順でバンド穴にバンドを通して面ファスナーで固定する

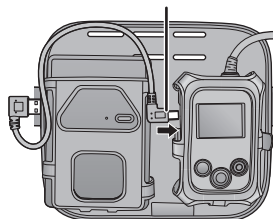
- USB モバイル電源 (別売) を確実に奥まで入れてください。
- USB モバイル電源 (別売) について、詳しくは USB モバイル電源の説明書をご確認ください。



6 本機 (本体部) と USB モバイル電源 (別売) を接続する

- USB-microB 型プラグの向きが図と同じになるようにしてください。
- 奥まで差し込んで接続してください。
- 本機と USB モバイル電源 (別売) を接続する USB 接続ケーブルは、必ず本機に付属の USB 接続ケーブル (アングル) をお使いください。

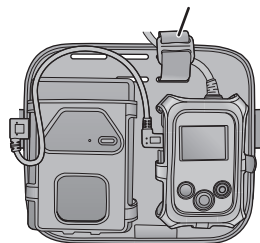
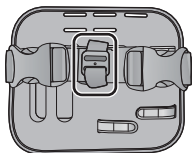
USB-microB 型プラグ



付属のバンド

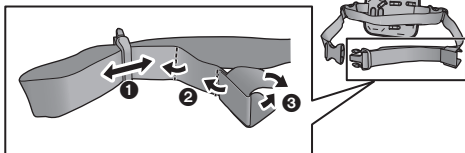
7 付属のバンドで収納ケースにカメラ / 本体 接続ケーブルを固定する

- お買い上げ時、付属のバンドは収納ケース裏の図の位置に取り付けられています。



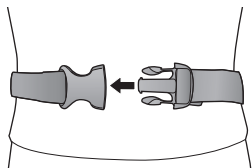
8 腰に巻く前にバンドの長さを調整する

- ① 長さを調整する
- ② 余った部分を折りたたむ
- ③ 手順②で折りたたんだ部分を面ファスナーで固定する



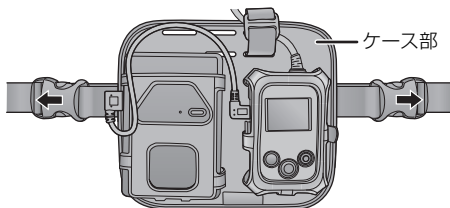
9 腰に巻いてバックルを差し込む

- 装着するとき、カメラ部が落下して衝撃を与えたり、レンズを傷つけないようにしてください。



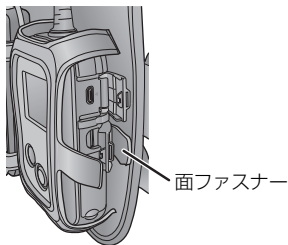
■ 収納ケースについて

- 収納ケースのケース部は、収納ケースを装着したまま左右のバックルを外して取り外すことができます。

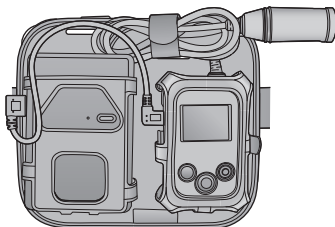


撮影

- 本機（本体部）を収納ケースに入れた状態で microSD カードや HDMI マイクロケーブルを抜き差しできます。microSD カードを抜き差しするときは、面ファスナーを外してください。



- 本機を使用しないとき、付属のバンドでカメラ / 本体接続ケーブルを束ね、バンドをバンド穴に通して本機（カメラ部）をケース部に固定できます。

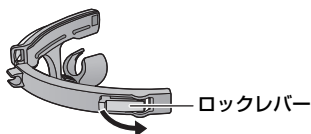


お知らせ

- 本機（本体部）および USB モバイル電源（別売）を収納ケースから取り出すときは、先に USB モバイル電源の USB-microB 型プラグを本機（本体部）から抜いてください。また、カメラ / 本体接続ケーブルや USB モバイル電源のコードを引っ張らないでください。
- ケーブルやコードを無理に曲げたり、引っ張ったりしないでください。低温下ではケーブルやコードが多少硬くなるため、特にお気をつけください。

ヘッドマウントを組み立てる

- 1 ヘッドマウント (L) のロックレバーを UNLOCK 側に倒す

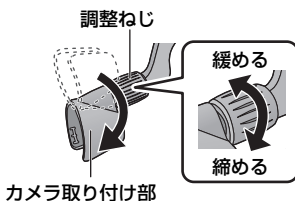


- 2 ヘッドマウント (L) にヘッドマウント (R) を取り付ける



- 3 調整ねじを緩め、カメラ取り付け部の向きを変える

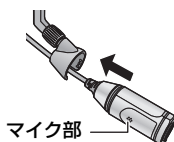
- 図のように向きを変え、調整ねじを締め直してください。



ヘッドマウントに本機（カメラ部）を取り付けて装着する

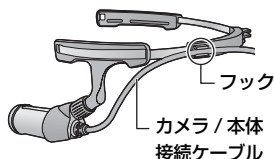
- 1 本機（カメラ部）をカメラ取り付け部に「カチッ」と音がするまで差し込む

- マイク部が内側になるように差し込みます。



- 2 カメラ / 本体接続ケーブルをフックにはめ込む

- ヘッドマウントの形に合わせてたるませてください。



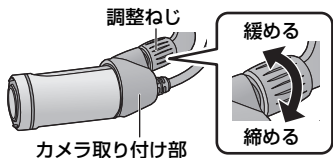
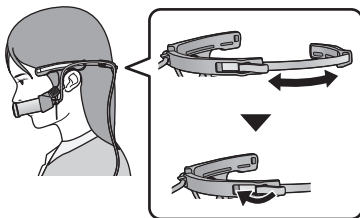
3 本機（カメラ部）が顔の左側になるように、ヘッドマウントを確実に耳にかけて装着する

4 ヘッドマウントのサイズを調整し、ロックレバーを LOCK 側に倒す

- ヘッドマウント（R）側を左右にゆっくり引っ張り、調整します。
- 本機（カメラ部）をほおに密着させるように調整するとブレの少ない映像を撮ることができます。

5 カメラ取り付け部を持ち、レンズの向きを調整する

- レンズの向きが変えられない場合は、調整ねじを少し緩めて、調整後にねじを締め直してください。
- 本機（カメラ部）がぐらつく場合は、調整ねじを締めてください。

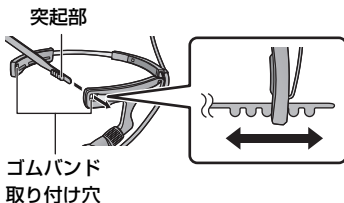


■ ゴムバンドを取り付ける

スポーツなどの動きのある場面で撮影する場合は、ゴムバンドを取り付けてからヘッドマウントを装着してください。

1) ゴムバンドをゴムバンド取り付け穴に取り付ける

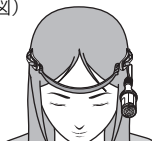
- ゴムバンドがねじれないように、正しく取り付けてください。
- 突起部の位置を変えることで、ゴムバンドの長さを調整することができます。



2) ヘッドマウントを装着する

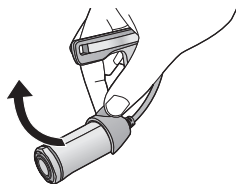
- ゴムバンドの長さを変える場合は、ヘッドマウントを外して調整してください。

(装着図)



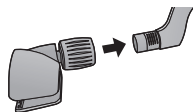
■ カメラ部の外し方

図のように持ち、カメラ部を矢印の方向に外す



お知らせ

- 取り付け・取り外し中などに、レンズに触れたり、カメラ / 本体接続ケーブルを引っ張らないでください。
- ヘッドマウントのサイズの調整およびゴムバンドの調整は、無理な力がかからないように、ゆっくりと行ってください。
- 調整ねじが外れた場合は、右図のように取り付けてください。

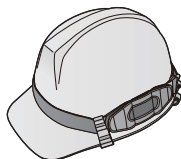


ヘッドバンドを取り付けて本機（カメラ部）を装着する

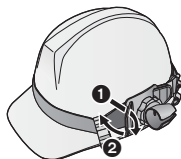
ヘッドバンドにマルチマウント（付属）を装着して、ヘルメット（市販）などに装着して撮影します。

1 ヘルメット（市販）にヘッドバンドを装着する

- 取り付けるサイズに合わせて、ベルトの長さを調整してください。
- ヘッドバンドの外れを防ぐため、ヘルメットホルダー（市販）でバンドを固定してください。

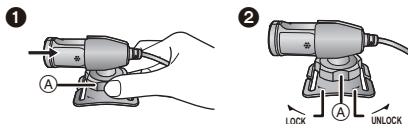
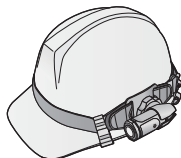


2 ヘッドバンドの面ファスナー（2か所）を外して図のようにマルチマウントに通し、面ファスナーをしっかりと固定する



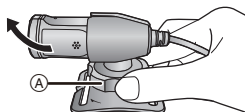
3 マルチマウントに、本機（カメラ部）を取り付ける

- 1 図のように調整ねじ（A）を押さえながら、矢印の方向にカメラ部を「カチッ」と音がするまで差し込む
- 2 装着後、カメラの取り付け部を押さえながら、調整ねじ（A）を LOCK 方向に回して、しっかりと固定する



■ カメラ部をマルチマウントから取り外すには

図のように調整ねじ（A）を押さえながら、矢印の方向にカメラ部を引き抜く



装着後の確認

撮影前に試し撮りをして、「画角切換」、「ブレ補正」、「ホワイトバランス」などの設定を確認しておくことをお勧めします。（P29、33、34）

- 本機を装着して正面を向き、収納ケースのケース部を取り外し、液晶モニターで確認します。

撮影する

- 撮影前に撮影モードを切り換えてください。(P31)

1 撮影開始 / 一時停止ボタンを押す

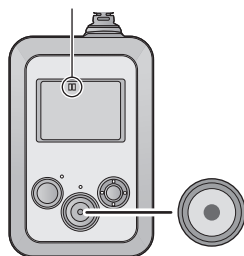


- 動画撮影時は、撮影を開始します。
- 写真撮影時は、写真が記録されます。
- 動画撮影を開始すると、約30秒後に液晶モニターが消灯します。再度点灯させるには、ジョイスティックを操作してください。

2 (動画撮影の場合)

撮影開始 / 一時停止ボタンをもう一度押し
て撮影を停止する

動画撮影を開始すると
■が●になります。



■ 撮影時の画面表示について

(動画撮影時)

	撮影モード (P31)
0h00m00s	撮影の経過時間 ● hは「hour(時間)」、mは「minute(分)」、sは「second(秒)」を省略した表示です。 ● 撮影の一時停止ごとに0h00m00sに戻ります。 ● 撮影の経過時間は、記録開始時から表示されます。
残 1 時間 20 分	残り記録可能時間の目安 ● 1分未満になると赤色点滅します。



(写真撮影時)

	写真撮影モード (P31)
■ (赤)	写真記録中 ● 写真記録中に表示されます。
残 3000	残り記録可能枚数 ● 「0」になると赤色点滅します。



【情報表示画面について】

ジョイスティックを右に倒すと、情報表示画面を表示することができます。

- 再度ジョイスティックを右に倒すと、情報表示画面が消えます。
- Wi-Fi モードの起動中は、情報表示画面が表示されません。
- 表示されるアイコンについては、47 ページをお読みください。





🔪 お知らせ

- 撮影を開始してから停止するまでが 1 ファイルとして記録されます。ただし、以下の時間を超えた動画は自動的に分割されます。(撮影は続きます)
撮影する映像によりデータ量が変わりますので、目安としてください。
 - － 1920×1080/60p : 約 20 分
 - － 1920×1080/30p、1280×720/60p、1280×720/30p、848×480/30p : 約 30 分
 - － 1920×1080/60fps : 約 15 分
 - － 1280×720/120fps : 約 7 分
 - － 848×480/240fps : 約 3 分
- microSD カード 1 枚に記録できる動画の最大ファイル数は約 89100 です。また、最大フォルダー数は約 900 です。
microSD カードに動画と写真が記録されている場合は、上記より少なくなります。
- 動画は、「撮影モード選択」(P31) および「画素数 / フレームレート」(P32) の設定ごとにフォルダーが分かれて記録されます。
写真は、1 枚の写真撮影と間欠写真記録 (P33) はフォルダーが分かれて記録されます。
フォルダーの詳細については、48 ページをご覧ください。
また、以下の場合はフォルダーが分かれて記録されます。
 - － 動画のファイル数が 99 を超えたとき
 - － 写真のファイル数が 999 を超えたとき
 - － 間欠写真記録で撮影したとき
- 記録可能時間 / 記録可能枚数の目安については 59、60 ページをお読みください。
- 動画撮影の停止には約 3 秒ほどかかる場合があります。液晶モニターで動画記録が停止したことをご確認ください。

■ ロック機能を使う

ロック機能を設定すると、本機の誤操作を防止することができます。

ジョイスティックを約 2 秒間上に倒す

-  が表示され、本機の操作が無効になります。
- 再度ジョイスティックを約 2 秒間上に倒すと、 の表示が消え、設定が解除されます。

撮影モードを切り換える

撮影モードを切り換えると、いろいろな撮影方法で記録できます。

1 ジョイスティックの中央を押してメニュー設定する

「撮影設定」 → 「撮影モード選択」 → 希望の撮影モード

撮影モード	アイコン	撮影方法
通常撮影モード		動画を記録します。
スローモーションモード		高フレームレート（コマ数を多く）にして、スローモーション動画を記録します。
写真撮影モード		写真を記録します。

2 撮影する (P29)

スローモーションモード

撮影時に高フレームレート（コマ数を多く）にして、スローモーション動画を記録します。

- 音声は記録できません。
- 「画角切換」、「ブレ補正」、「カラーナイトビュー」はできません。
- 暗い場所で動画撮影を行った場合、「通常撮影モード」よりも暗くなる場合があります。

お知らせ

- スローモーションモードで撮影する場合は、SDスピードクラスが6以上のmicroSDカードをお使いください。

写真撮影モード

写真を記録します。

- 暗い場所で写真撮影を行った場合、動画撮影時よりも暗くなる場合があります。
- 「画角切換」が「ワイド」、「スタンダード」のとき、8.3 M で写真を記録します。「画角切換」が「ナロー」のとき、2.1 M で写真を記録します。

メニュー設定して撮影機能を使う

ジョイスティックの中央を押してメニュー設定する

「撮影設定」→希望のメニュー項目

撮影モード選択

31 ページをお読みください。

画素数 / フレームレート

記録する動画の画質を切り換えます。「撮影モード選択」によって、設定できる画素数 / フレームレートが変わります。

- 「撮影モード選択」を「通常撮影モード」に設定した場合 (P31)
数値が大きくなるほど高画質になり、ファイルサイズも大きくなります。(P60)

「1920×1080/60p」 / 「1920×1080/30p」 / 「1280×720/60p」 / 「1280×720/30p」 / 「848×480/30p」

- 「撮影モード選択」を「スローモーションモード」に設定した場合 (P31)

「1920×1080/60fps」	1/2 倍速スロー再生になります。 (実再生時間は撮影時間の 2 倍です)
「1280×720/120fps」	1/4 倍速スロー再生になります。 (実再生時間は撮影時間の 4 倍です)
「848×480/240fps」	1/8 倍速スロー再生になります。 (実再生時間は撮影時間の 8 倍です)

お知らせ

- Wi-Fi 機能使用時は、「1920×1080/60p」、「1280×720/60p」、「写真撮影モード」は使用できません。これらの設定で Wi-Fi 機能を使用した場合は、「1920×1080/30p」に変更されます。

画角切換

画角モードを切り換えることができます。

- 「ワイド」：画面に表示される被写体の範囲が広くなります。
- 「スタンダード」：通常の画面です。
- 「ナロー」：画面に表示される被写体の範囲が狭くなります。

- 以下の場合は設定できません。
 - 撮影中
 - 撮影モードが「スローモーションモード」のとき（画角は約 160° に固定されます）
 - 「画素数 / フレームレート」が「1920×1080/60p」、「1280×720/60p」のとき

間欠写真記録

設定した間隔で写真を撮影します。

- 「撮影モード選択」を「写真撮影モード」に設定する（P31）

1) ジョイスティックの中央を押してメニュー設定する

「撮影設定」→「間欠写真記録」→希望の設定

「60 秒」 / 「30 秒」 / 「10 秒」 / 「5 秒」 / 「3 秒」 / 「オフ」

- 「オフ」にすると、通常の写真撮影になります。
- ### 2) 撮影開始 / 一時停止ボタンを押して撮影を開始する
- 設定した間隔で写真を記録し続けます。
 - 撮影を開始すると、約 30 秒後に液晶モニターが消灯します。再度点灯させるには、ジョイスティックを操作してください。
- ### 3) 撮影開始 / 一時停止ボタンをもう一度押して撮影を停止する

ブレ補正

カメラのブレを軽減します。

- 以下の場合は設定できません。
 - 撮影モードが「スローモーションモード」のとき
 - 「画素数 / フレームレート」が「1920×1080/60p」、「1280×720/60p」のとき
 - 「画角切換」が「ワイド」、「スタンダード」のとき
 - 「カラーナイトビュー」が「オン」のとき
- 極端に暗いところやブレが大きいときは補正が効きにくいことがあります。
- 本機が静止状態のときは、誤動作する場合があります。

ホワイトバランス








光源などによって色合いが自然でないときに、手動で設定してください。

- 「カラーナイトビュー」が「オン」の場合は、設定を変更することができません。

1) ジョイスティックの中央を押してメニュー設定する

「撮影設定」→「ホワイトバランス」→「プリセット」

2) ジョイスティックを左右に倒してプリセットモードを切り換える


プリセットモード	撮影条件
 (AWB)	ホワイトバランスを自動調整します。
 (晴れ)	屋外の晴天下
 (曇り)	屋外の曇り空の下
 (屋内 1)	白熱電球やスタジオ等のビデオライトなど
 (屋内 2)	電球色蛍光灯や体育館等のナトリウムランプなど
 (蛍光灯)	当社のバルック蛍光灯など
 (ユーザー)	「ユーザー設定」で記憶させた色合い

3) 中央を押して設定する

- 撮影開始 / 一時停止ボタンを押して設定を終了してください。

■ 手動でホワイトバランスを設定するには

水銀灯、ナトリウム灯、劇場のスポットライト、日没・日の出などを撮影するときは、「ユーザー設定」で色合いを設定してください。

- 「ユーザー設定」を設定すると、プリセットモードは自動で  (ユーザー) になります。
- 設定条件が変わったときは、再度設定してください。

1) ジョイスティックの中央を押してメニュー設定する

「撮影設定」→「ホワイトバランス」→「ユーザー設定」

2) 画面いっぱいに白い被写体を映して、「設定」を選び中央を押す

- ホワイトバランスを設定したメッセージが表示され、設定値が記憶されます。
- 撮影開始 / 一時停止ボタンを押して設定を終了してください。

逆光補正

逆光で被写体の後ろ側から光が当たって暗くなるのを防ぐため、画面の映像を明るくします。

- 「カラーナイトビュー」が「オン」の場合は、設定できません。

カラーナイトビュー

暗い場所でも、カラーで明るく浮かび上がらせて撮影できます。

- 撮影モードが「スローモーションモード」の場合は、設定できません。
- 撮影した映像はコマ落としのようになります。
- 明るい場所で設定すると、しばらくの間画面が白くなることがあります。
- 通常では見えない微小な輝点が見えることがありますが、異常ではありません。
- ホワイトバランスの設定は変更できません。

シャッタースピード

撮影モードが「スローモーションモード」のときのカメラのシャッター速度を設定しません。

「オート」 / 「マニュアル」

- 撮影モードが「通常撮影モード」または「写真撮影モード」の場合は設定できません。

■ 「マニュアル」を選んだ場合

ジョイスティックを左右に倒して希望の設定を選び、中央を押す

「1/250」 / 「1/500」 / 「1/1000」 / 「1/2000」 / 「1/4000」

- 撮影開始 / 一時停止ボタンを押して設定を終了してください。

マイク

撮影時の音声記録を切り換えることができます。

「オン」：音声を記録します。

「オフ」：音声を記録しません。

- 撮影モードが「スローモーションモード」または「写真撮影モード」の場合は設定できません。

風音低減

内蔵マイクに当たる風音ノイズを軽減します。

- お買い上げ時の設定は「オフ」です。
- 撮影状況によっては十分な効果が得られない場合があります。
- 写真撮影モード時、または「マイク」が「オフ」の場合は、設定できません。

記録スクランブル設定

撮影した動画や写真のデータを特定の方法で変換（スクランブル化）します。

「スクランブルオン」：データを特定の方法で変換（スクランブル化）します。
記録したファイルの拡張子は、「MO4」、「JOG」になります。
(P48)

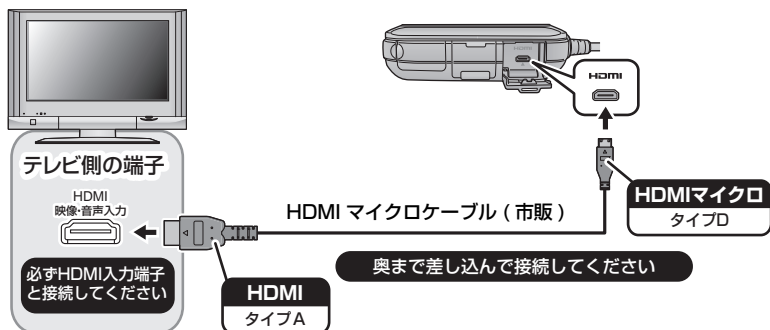
「スクランブルオフ」：データを特定の方法で変換（スクランブル化）しません。
記録したファイルの拡張子は、「MP4」、「JPG」になります。
(P48)

- スクランブル化されたデータを再生するためには、対応のソフトウェアにてスクランブル解除する必要があります。
- お買い上げ時の設定は「スクランブルオン」です。

テレビにつないで見る

本機を HDMI 対応のハイビジョンテレビと接続すると、テレビで本機のカメラ映像や音声を確認しながら撮影することができます。

1 本機とテレビをつなぐ



- HDMI 接続時の設定については (P21)

2 テレビの入力切換を選ぶ

- テレビの入力設定 (入力切換)、音声入力設定を確認してください。(詳しくは、テレビの説明書をお読みください)

🔪 お知らせ

- 以下の場合には映像・音声の本機から出力されません。
 - 撮影モードが「スローモーションモード」のとき
 - Wi-Fi 機能使用時
- 動画撮影時、ハウリング※が起きることがあります。その場合はテレビの音量を下げてください。
 - ※ スピーカーから出た音をマイクが拾ってしまい、異常音が発生すること

Wi-Fi[®] 機能について

■ 本機は無線 LAN 機器としてお使いください

無線LAN機器よりも高い信頼性が要求される機器や電算機システムなどの用途に使用する場合は、ご使用になるシステムの安全設計や故障に対する適切な処置を十分に行ってください。

無線 LAN 機器としての用途以外で使用して損害が生じた場合、当社は一切の責任を負いかねます。

■ Wi-Fi 機能は日本での利用を前提としています

本機の Wi-Fi 機能は、日本での利用を前提としています。日本国外での使用は、その国の電波関連規制等に違反するおそれがあり、当社は一切の責任を負いかねます。

■ 電波によるデータの送受信は傍受される可能性があります

電波によるデータの送受信は、第三者に傍受される可能性があります。あらかじめご了承ください。

■ 磁場・静電気・電波障害が発生するところで使用しないでください

- 電子レンジ付近など磁場・静電気・電波障害が発生するところで使用しないでください。電波が届かないことがあります。
- 2.4 GHz 帯の電波を使用するコードレス電話機などの機器の近くで使用すると、両方の処理速度が低下することがあります。

■ 利用権限のない無線ネットワークに接続しないでください

本機は無線 LAN 機能を使用するときに無線ネットワーク環境の自動検索を行います。その際、利用する権限のない無線ネットワーク (SSID^{*}) が表示されることがありますが、不正アクセスと見なされるおそれがありますので、接続しないでください。

^{*} SSID とは、無線 LAN で特定のネットワークを識別するための名前のことです。この SSID が双方の機器で一致した場合、通信可能になります。

■ 本機は WPS に対応しています

WPS (Wi-Fi Protected SetupTM) とは、無線 LAN 機器の接続やセキュリティーに関する設定を簡単に行うことができる機能です。

🔪 お知らせ

- 本機は公衆無線 LAN 環境を経由して無線 LAN 接続することはできません。
- 無線アクセスポイントをお使いの場合は、IEEE802.11b、IEEE802.11g または IEEE802.11n 対応のものをご使用ください。
- 本機は 2.4 GHz の周波数帯を使用しているため、5 GHz の周波数帯を使用している無線 LAN 接続はできません。
- 無線アクセスポイントでご使用になる場合は、情報セキュリティーのためにも無線アクセスポイントで暗号化を設定することを強くお勧めします。
- 3G 等の携帯電話回線を利用する場合、契約内容によっては高額なパケット通信料が発生することがあります。
- 電波の状況によっては、Wi-Fi 接続できないことがあります。
- Wi-Fi 機能使用時に、Wi-Fi 送信部を手で塞がないでください。(P13)
- Wi-Fi 機能使用時、Wi-Fi 送信部が温かくなることがありますが、故障ではありません。(P13)

Wi-Fi 接続するには

本機は、以下の接続方法で他の機器と Wi-Fi 接続することができます。
接続方法に合わせて、必要な設定を行ってください。

Wi-Fi モード	接続方法	必要な設定
AP 接続 (カメラから接続)	無線アクセスポイントを使用して、本機から相手機器と接続します。	無線アクセスポイントと接続する (P39) → 相手機器の IP を設定する (P43)
AP 接続 (PC から接続)	無線アクセスポイントを使用して、相手機器から接続します。	相手機器と同じアクセスポイントに接続する場合： 無線アクセスポイントと接続する (P39)
		インターネット経由で相手機器と接続する場合： 無線アクセスポイントと接続する (P39) → カメラ詳細設定 (P46)
直接接続	本機と相手機器を直接接続します。	

● 設定が完了したら、Wi-Fi モードを選んで相手機器と接続してください。(P44)

■ Wi-Fi 接続時の接続状態アイコンについて



無線アクセスポイント接続時：

- 📶 Wi-Fi 接続されている / 📶 Wi-Fi 接続されていない
- 電波強度によって 📶 (弱) → 📶 → 📶 → 📶 (強) に表示が変わります。
 - Wi-Fi モードを終了すると、アイコンが消えます。

直接接続時：

- 📶 Wi-Fi 接続されている / 📶 Wi-Fi 接続されていない
- Wi-Fi モードを終了すると、アイコンが消えます。

無線アクセスポイントと接続する

本機は Wi-Fi 接続する無線アクセスポイントを1つ登録できます。

お使いの無線アクセスポイントが WPS に対応しているか確認する

WPS に対応している場合：「かんたん接続 (WPS)」(下記) へ

WPS に対応していない場合：「無線アクセスポイントを検索して接続する」(P40) へ

かんたん接続 (WPS)

1 ジョイスティックの中央を押してメニュー設定する

「Wi-Fi 設定」→「アクセスポイント設定」→「接続先設定」

2 「新規登録」を選び、中央を押す

- 無線アクセスポイントを消去するには (P42)



3 「かんたん接続 (WPS)」を選び、中央を押す

4 無線アクセスポイントを WPS 待ち受け状態に設定する

- 詳しい操作については、お使いの無線アクセスポイントの説明書をお読みください。
- 接続が完了するとメッセージが表示され、接続先設定画面に戻ります。「終了」を選び中央を押して、設定を終了してください。
- 接続に失敗した場合はメッセージが表示されます。中央を押して終了し、再度接続設定をし直してください。



Wi-Fi

【PIN コードを入力して設定するには】

1) 手順 4 で「PIN 入力」を選び、中央を押す

2) 接続したい無線アクセスポイントを選び、中央を押す

- 再度無線アクセスポイントの検索を行うには、ジョイスティックを左に倒して、「PIN 入力」を選び、中央を押してください。


3) 本機の画面に表示されているPINコードを無線アクセスポイントに入力する

- 詳しい操作については、お使いの無線アクセスポイントの説明書をお読みください。

4) 「次へ」を選び、中央を押す

- 接続が完了するとメッセージが表示され、接続先設定画面に戻ります。「終了」を選び中央を押して、設定を終了してください。
- 接続に失敗した場合はメッセージが表示されます。中央を押して終了し、再度接続設定をし直してください。

Wi-Fi 接続完了の確認

— 画面に  が表示されている

無線アクセスポイントを検索して接続する

- 選択した無線アクセスポイントにネットワーク認証が暗号化されている場合は、選択した無線アクセスポイントの「暗号化キー（パスワード）」を確認しておいてください。

1 ジョイスティックの中央を押してメニュー設定する

「Wi-Fi 設定」→「アクセスポイント設定」→「接続先設定」

2 「新規登録」を選び、中央を押す

- 無線アクセスポイントを消去するには（P42）



3 「手動接続」を選び、中央を押す

4 「検索」を選び、中央を押す

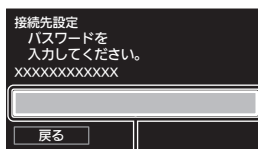
5 接続する無線アクセスポイントを選び、中央を押す

- 再度無線アクセスポイントの検索を行うには、ジョイスティックを左に倒して、「検索」を選び中央を押してください。
- 無線アクセスポイントが表示されない場合は、「マニュアル入力して接続する」（P41）をお読みください。
- 暗号化キー（パスワード）が設定されていない場合は、接続が完了しメッセージが表示されます。接続先設定画面で「終了」を選び中央を押して、設定を終了してください。

6 （暗号化キー（パスワード）ありの場合）

入力エリアを選び中央を押して、パスワードを入力する

- 文字の入力方法については「文字を入力するには」（P41）をお読みください。




入力エリア

7 「次へ」を選び、中央を押す

- 接続が完了するとメッセージが表示され、接続先設定画面に戻ります。「終了」を選び中央を押して、設定を終了してください。

Wi-Fi 接続完了の確認

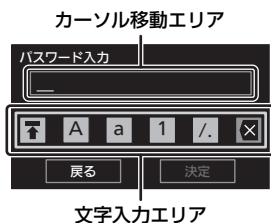
— 画面に  が表示されている

【文字を入力するには】

ジョイスティックで入力アイコンを操作して文字入力できます。

1) ジョイスティックで文字入力エリアに合わせて、中央を押す

- 文字入力モードになり、アイコンを選択できます。



アイコン	説明
「A」	アルファベットの大文字を入力できます。
「a」	アルファベットの小文字を入力できます。
「1」	数字を入力できます。
「./」	記号を入力できます。
✕	文字を消去します。カーソル位置が空白の場合は 1 つ前の文字を消去します。
↵	文字入力モードを解除します。

2) ジョイスティックを左右に倒して入力したい文字のアイコン（「A」 / 「a」 / 「1」 / 「./」）に合わせ、上下で文字を切り換える

3) 中央を押して文字を入力する

- 手順 2～3 を繰り返して文字を入力します。
- 文字を消去するには、✕ を選び、中央を押してください。
- カーソル位置を変更するには、手順 4 の操作をしてから、ジョイスティックでカーソル移動エリアを選び、左右に倒してください。

4) ↵ を選び、中央を押して文字入力モードを解除する

- 「決定」を選び、中央を押すと文字入力を終了します。

マニュアル入力して接続する

- 「マニュアル入力」で接続する場合は、お使いのアクセスポイントの「SSID（識別名）」、「暗号化キー（パスワード）」を確認してください。

1 ジョイスティックの中央を押してメニュー設定する

「Wi-Fi 設定」 → 「アクセスポイント設定」 → 「接続先設定」

2 「新規登録」を選び、中央を押す

- 無線アクセスポイントを消去するには（下記）

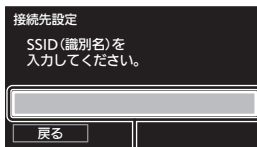


3 「手動接続」を選び、中央を押す

4 「マニュアル入力」を選び、中央を押す

5 入力エリアを選び中央を押して、接続する 無線アクセスポイントのSSIDを入力する

- 文字の入力方法については 41 ページをお読みください。



入力エリア

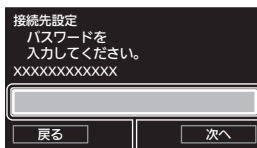
6 「次へ」を選び、中央を押す

- 暗号化キー（パスワード）が設定されていない場合は、手順 8 に進んでください。

7 (暗号化キー（パスワード）ありの場合)

入力エリアを選び中央を押して、パスワード を入力する

- 文字の入力方法については 41 ページをお読みください。




入力エリア

8 「次へ」を選び、中央を押す

- 接続が完了するとメッセージが表示され、接続先設定画面に戻ります。「終了」を選び中央を押して、設定を終了してください。

Wi-Fi 接続完了の確認

— 画面に  が表示されている

お知らせ

- 無線アクセスポイントを登録する場合は、無線アクセスポイントの説明書や設定をご確認ください。
- 無線アクセスポイントの電波が弱いときは、接続できない場合があります。
- 詳しくは「メッセージ表示」(P49)、「故障かな!?!とと思ったら」(P50)をお読みください。
- お使いの環境によっては通信速度が低下したり、ご利用になれない場合があります。

【無線アクセスポイントを消去するには】

- 「アクセスポイント設定」で「接続先設定」を選ぶ (P39、40、41)

ジョイスティックで「消去」を選び、中央を押す

- メッセージが表示されます。「はい」を選び、中央を押してください。

お知らせ

- 無線アクセスポイントを変更したい場合は、登録済みの無線アクセスポイントを消去してから追加してください。

Wi-Fi 接続できないときは

- 無線アクセスポイントの設定については、お使いの機器の説明書をお読みください。

こんなときは？	ご確認ください
無線アクセスポイントと接続できない 無線アクセスポイントが検出されない	(全般) <ul style="list-style-type: none">● 無線アクセスポイントの電源を入れてください。● 無線アクセスポイントに近づいて再度接続し直してください。● 接続が完了するまでに時間がかかると Wi-Fi 接続を中止します。再度接続設定をし直してください。● 無線アクセスポイントの接続方法やセキュリティーの設定方法を確認してください。● 無線アクセスポイントが 2.4 GHz 帯 / 5 GHz 帯の両方に対応している場合は 2.4 GHz 帯の設定が有効になっているか確認してください。● 本機に無線アクセスポイントが登録されているか確認してください。(P39)● 電波状況により無線アクセスポイントが見つからない場合があります。「マニュアル入力して接続する」をお読みください。(P41) (「かんたん接続 (WPS)」の場合) <ul style="list-style-type: none">● 無線アクセスポイントが正しく WPS 待ち受け状態になっているか確認してください。● PIN コードを正しく入力しているか確認してください。 (「検索」または「マニュアル入力」の場合) <ul style="list-style-type: none">● SSID やパスワードを正しく入力しているか確認してください。● 暗号化キー (パスワード) をご確認ください。
無線アクセスポイントの電波が途切れる	<ul style="list-style-type: none">● 無線アクセスポイントの置き場所や角度を変えると電波状態が良くなる場合があります。● 2.4 GHz 帯の周波数を使用する電子レンジやコードレス電話機などの機器の近くで同時に使用された場合、電波が途絶えることがあります。機器から十分に離してご使用ください。

相手機器の IP を設定する

1 ジョイスティックの中央を押してメニュー設定する

「Wi-Fi 設定」→「相手先 IP 設定」

2 ジョイスティックを左右に倒して合わせる項目を選び、上下に倒して数字を合わせ、中央を押す

- 撮影開始 / 一時停止ボタンを押して設定を終了してください。

Wi-Fi モードを選ぶ

使用上のお願い：

本機能のご利用につきましては、被写体のプライバシー、肖像権などに十分ご配慮のうえ、お客様の責任で行ってください。

AP 接続する場合

1 ジョイスティックの中央を押してメニュー設定する

「Wi-Fi 設定」→「Wi-Fi モード選択」

2 「AP 接続（カメラから接続）」または「AP 接続（PC から接続）」を選び、中央を押して Wi-Fi モードを起動する

🔔お知らせ

- 撮影画面でジョイスティックを左に倒し続けると、「Wi-Fi モード選択」の設定画面が表示されます。設定後は撮影画面に戻ります。
- 撮影画面でジョイスティックを左に倒すと、「Wi-Fi モード選択」で設定した Wi-Fi モードを起動することができます。

直接接続する場合

1 ジョイスティックの中央を押してメニュー設定する

「Wi-Fi 設定」→「Wi-Fi モード選択」

2 「直接接続」を選び、中央を押す


3 相手機器から、本機に表示されている SSID を選ぶ

4 （初めて接続する場合）

本機に表示されているパスワードを相手機器に入力する

- 2 回目以降の接続は、パスワードの入力は不要です。

Wi-Fi 接続完了の確認

－ 画面に  が表示されている

🔔お知らせ

- 設定を行うときに本機と相手機器が離れていると、接続できないことがあります。双方の機器を近づけて設定してください。
- お使いの環境によっては通信速度が低下したり、ご利用になれない場合があります。

【Wi-Fi モードを終了するには】

ジョイスティックを左に倒す

- メッセージが表示されます。「はい」を選び、中央を押して終了してください。

■ ヘッドセットの使用について

マイク / ヘッドホン端子にヘッドセット（市販）を接続すると、ヘッドセットのマイクからよりクリアな音声を録音できます。また、Wi-Fi 機能使用時には相手機器からの音声を聞くことができます。

ヘッドセットは、アシダ音響株式会社製の ESM-270-11 を推奨します。（2016 年 10 月現在）

【ヘッドホンの音量を調節するには】

1) (Wi-Fi モードの起動中)

ジョイスティックの中央を押す

- ヘッドホン音量の調節画面が表示されます。

2) ジョイスティックを左右に倒して音量を調節する

- 音量レベルは 0（ミュート）～最大 32 まで調節できます。

3) ジョイスティックの中央を押して設定を終了する

お知らせ

- Wi-Fi モードの起動中のみ、ヘッドホンの音量を調節することができます。
- 撮影モードが「スローモーションモード」のときは、相手機器からの音声を聞くことはできません。
- マイク / ヘッドホン端子にヘッドセットを接続すると、内蔵マイクは切になります。

Wi-Fi 設定メニューを使う

Wi-Fi 機能を使うために必要な各種設定を行います。
Wi-Fi モードの起動中は、本機で設定の変更はできません。

ジョイスティックの中央を押してメニュー設定する

「Wi-Fi 設定」→希望のメニュー項目

Wi-Fi モード選択

44 ページをお読みください。

アクセスポイント設定

39 ページをお読みください。

カメラ詳細設定

無線 LAN の IP アドレス、サブネットマスクなどのネットワーク設定の変更、確認ができます。

「IP アドレス」 / 「サブネットマスク」 / 「ゲートウェイ」 / 「プライマリ DNS」 / 「セカンダリ DNS」

- 「自動にする」を選ぶと、ネットワークの設定を自動で行います。「手動にする」を選ぶと、各項目の設定ができます。設定したい項目を選び、設定を行ってください。
- インターネット経由で他の機器と Wi-Fi 接続する場合は、「手動にする」を選び、各項目の設定を行ってください。

相手先 IP 設定

43 ページをお読みください。

Wi-Fi 初期設定

Wi-Fi 設定をお買い上げ時の設定に戻します。

ジョイスティックの中央を押してメニュー設定する

「Wi-Fi 設定」→「Wi-Fi 初期設定」→「はい」

MAC アドレス

本機の MAC アドレスを表示します。

画面の表示

■ 撮影表示

(撮影画面)



撮影モード (P31)

60sec / 30sec / 10sec / 5sec / 3sec
間欠写真記録 (P33)

●/|| (赤) 記録中

|| (緑) 撮影の一時停止中

📷 (赤) 写真記録中

0h00m00s 撮影経過時間 (P29)

(hは「hour (時間)」、mは「minute (分)」、sは「second (秒)」を省略した表示です)

🔋 バッテリー残量 (P15)



🔒 記録スクランブル設定
(スクランブルオン時) (P35)

🔇 マイク (オフ時) (P35)

🔒 ロック中 (P30)

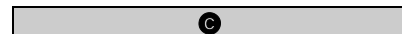
📄 (白) カード記録可能状態

📄 (緑) カード認識中

残り1時間20分 残り記録可能時間 (P29)

残り 3000 写真の残り記録可能枚数 (P29)

(情報表示画面)



1080/30p / 1080/60p / 720/60p / 720/30p / 480/30p /
1080/60fps / 720/120fps / 480/240fps

画素数 / フレームレート (P32)

8.3M / 2.1M

写真の記録画素数 (P31)

🔇 風音低減 (P35)

R タイムスタンプ (P20)

ワイド / スタンダード / ナロー
画角切替 (P33)

👉 プレ補正 (P33)

AWB / 設定 / 白 / 顔 / 顔 / 顔 / 顔 / 顔 / 顔
ホワイトバランス (P34)

📷 逆光補正 (P34)

🌙 カラーナイトビュー (P34)

1/4000 シャッタースピード (P35)

2015.12.15 年月日 (P18)

15:30 時刻 (P18)

■ Wi-Fi 接続表示

📶 / 📶 Wi-Fi 接続状態 (無線アクセスポイント接続) (P38)

📶 / 📶 Wi-Fi 接続状態 (直接接続) (P38)

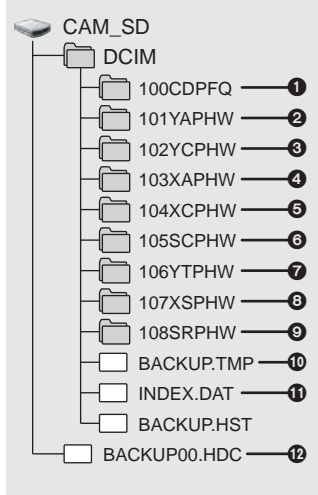
■ 確認表示

📄 microSD カードが入っていないとき、または使用不可カード

パソコンでの表示について

本機で撮影された microSD カードのフォルダー構造は以下のとおりです。

microSD カードのフォルダー構造例：



- フォルダー番号は 100～999 です。3桁の数字のあとのアルファベット5文字はファイルの種類を表します。
- 日付が変わるごとにフォルダーを作成します。

- ① 写真 (1 フォルダーに最大 999 枚記録)
間欠写真記録 (記録ごとに新規フォルダーを作成)
([S1000001.JOG] など)
- ②～⑥ 動画ファイル (1 フォルダーに最大 99 ファイル記録) ([S1000001.MO4] など)
 - ② 1920×1080/60p
 - ③ 1920×1080/30p
 - ④ 1280×720/60p
 - ⑤ 1280×720/30p
 - ⑥ 848×480/30p
- ⑦～⑨ スローモーション動画 ([S1000001.MO4] など)
 - ⑦ 1/2 倍速 (1920×1080/60fps)
 - ⑧ 1/4 倍速 (1280×720/120fps)
 - ⑨ 1/8 倍速 (848×480/240fps)
- ⑩～⑫ 管理用ファイル

お知らせ

- 「記録スクランブル設定」(P35) の設定により、ファイルの拡張子は下記になります。
 - (「スクランブルオン」の場合) 写真、間欠写真記録：「JOG」
動画、スローモーション動画：「MO4」
 - (「スクランブルオフ」の場合) 写真、間欠写真記録：「JPG」
動画、スローモーション動画：「MP4」

メッセージ表示

文章で画面に表示される、主な確認 / エラーメッセージの例です。

カードを確認してください。

非対応のカード、または本機で認識できないカードを入れています。
microSD カードにビデオや写真が記録されているのにこの表示が出る場合は、microSD カードの状態が不安定になっていることが考えられます。microSD カードを挿入し直して、電源を入れ直してください。

アクセスポイントが見つかりません。

- お使いの無線アクセスポイントや本機の Wi-Fi 設定を確認してください。
- 「かんたん接続 (WPS)」は本機と接続する機器の 2 つの機器間でのみ接続できます。接続する機器が複数台同時に WPS 待ち受け状態になっていないか確認してください。
- 43 ページの「Wi-Fi 接続できないときは」をお読みください。

接続に失敗しました。接続機器のネットワーク設定を確認してください。

- ネットワークの状況により接続できない場合があります。しばらくしてから再度接続してください。
- 43 ページの「Wi-Fi 接続できないときは」をお読みください。

修復について

異常な管理情報を検出するとメッセージが表示され、修復が行われます。
(エラー内容によっては時間がかかることがあります)



お知らせ

- 十分に充電されたバッテリーを使用してください。
- データの状態によっては、完全には修復できないことがあります。
- 修復に失敗すると、電源が切れる前に撮影した動画が再生できなくなります。
- 他の機器で記録されたデータを修復すると、他の機器で再生できなくなる場合があります。
- 修復に失敗したときは、本機の電源を切ってしばらくしてから電源を入れ直してください。何度も繰り返し修復に失敗するときは、本機でフォーマットしてください。フォーマットするとすべてのデータは消去され元に戻すことはできません。

故障かな!?と思ったら

■ 次のような場合は、故障ではありません

レンズや液晶モニターが曇る	● 露付きの現象です。故障ではありません。12ページをお読みください。
---------------	-------------------------------------

	こんなときは？	ご確認ください
電源	電源が入らない 電源が入っても すぐに切れる バッテリーの消耗 が早い	<ul style="list-style-type: none"> ● バッテリーを十分に充電してください。(P14) ● 低い温度のところでは使用できる時間が短くなります。 ● 十分に充電しても使用できる時間が短いときは、バッテリーの寿命です。お買い上げの販売店までご相談ください。
	撮影が勝手に 止まってしまう	<ul style="list-style-type: none"> ● 動画撮影に使用可能な microSD カードをお使いください。(P16) ● データ書き込み速度の低下、または記録・消去の繰り返しにより記録可能時間が短くなる場合があります。本機で microSD カードをフォーマットしてください。(P21) ● 「スローモーションモード」(P31) 時に SD スピードクラスが 6 未満の microSD カードを使うと、撮影が突然停止することがあります。(P16)
撮影	撮影した映像の 色合いがおかしい	● 体育館やホールなどの光源が複数ある場所では、ホワイトバランスの設定を  (屋内 2) に合わせてください。  (屋内 2) でうまく撮れないときは「ユーザー設定」で設定してください。(P34)
	撮影した映像がちらつく 撮影した映像に横帯が出る	● 「スローモーションモード」の「1280×720/120fps」 / 「848×480/240fps」に設定して撮影した場合、蛍光灯下でちらつきや横帯が出る場合があります。(P32)
Wi-Fi	無線アクセスポイントと接続できない	● 43 ページの「Wi-Fi 接続できないときは」をお読みください。
その他	撮影した時間より長い時間の動画ファイルができる	● 「スローモーションモード」(P31) で動画を撮影すると、撮影時間より長い動画ファイルができます。例えば、「848×480/240fps」(1/8 倍速スロー再生)の場合、再生時間は実撮影時間の 8 倍になります。(P32)
	本機に microSD カードを入れても認識しない	● パソコンでフォーマットした microSD カードを入れると認識しない場合があります。microSD カードをフォーマットする場合は本機で行ってください。(P21)
	充電できない	● バッテリーを充電するときは本機の電源を切ってください。電源が入った状態では充電できません。

無線 LAN 使用上のお願い

■ 使用周波数帯

本機は2.4 GHz帯の周波数帯を使用しますが、他の無線機器も同じ周波数を使っていることがあります。他の無線機器との電波干渉を防止するため、下記事項に留意してください。

■ 周波数表示の見方



本機が2.4 GHz周波数帯を使用するDSSSとOFDM変調方式を採用した無線設備で、与干渉距離が約40 mであることを意味します。

無線LAN機器使用上の注意事項

この機器の使用周波数帯域では、電子レンジなどの産業・科学・医療機器のほか、工場の製造ラインなどで使用される移動体識別用の構内無線局（免許を要する無線局）および特定小電力無線局（免許を要しない無線局）、ならびにアマチュア無線局（免許を要する無線局）が運用されています。

- 1 この機器を使用する前に、近くで移動体識別用の構内無線局及び特定小電力無線局ならびにアマチュア無線局が運用されていない事を確認してください。
- 2 万一、この機器から移動体識別用の構内無線局に対して有害な電波干渉の事例が発生した場合には、すみやかに使用場所を変更するか、または電波の使用を停止したうえ、下記連絡先にご連絡いただき、混信回避のための処置などについてご相談してください。
- 3 その他、この機器から移動体識別用の特定小電力無線局あるいはアマチュア無線局に対して有害な電波干渉の事例が発生した場合など何かお困りのことが起きた時は、次の連絡先へお問い合わせください。

連絡先：パナソニック株式会社 コネクティッドソリューションズ社
(06)6901 - 1161

使用上のお願い

本機について

耐用年数は、1日4時間、週5回のご使用で2年間を想定しています。

長時間ご使用になると本機や microSD カードが多少熱くなりますが、故障ではありません。

磁気が発生するところや電磁波が発生するところ（電子レンジ、テレビやゲーム機など）からはできるだけ離れて使う

- テレビの上や近くで操作すると、電磁波の影響で映像や音声が乱れることがあります。
- スピーカーや大型モーターなどが出す強い磁気により、記録が損なわれたり、映像がゆがんだりします。
- マイコンを含めたデジタル回路の出す電磁波により、お互いに影響を及ぼし、映像や音声が乱れることがあります。

電波塔や高圧線が近くにあるときは、なるべく使わない

- 近くで撮ると、電波や高電圧の影響で撮影映像や音声が悪くなる場合があります。

付属のケーブルを必ず使用してください。また、ケーブルは延長しないでください。

周囲で殺虫剤や揮発性のものを使うときは、本機にかけない

- かかると、外装ケースが変質したり、塗装がはげるおそれがあります。
- ゴム製品やビニール製品などを長期間接触させたままにしないでください。

浜辺など砂やほこりの多いところで使うときは、内部や端子部に砂やほこりが入らないようにする

- 砂やほこりは、本機の故障につながります。（microSD カードの出し入れ時はお気をつけください）

本機を持ち運びするときは、落としたり、ぶつけたりしない

- 強い衝撃が加わると、外装ケースがこわれ、故障するおそれがあります。

お手入れ

お手入れの際は、USB 接続ケーブルを外して、乾いた柔らかい布でふいてください。

- 汚れがひどいときは、水に浸した布をよく絞ってから汚れをふき取り、そのあと、乾いた布でふいてください。
- ベンジン、シンナー、アルコール、台所洗剤などの溶剤は、外装ケースが変質したり、塗装がはげるおそれがありますので使用しないでください。
- 化学雑巾をご使用の際は、その注意書きに従ってください。

長期間使用しない場合について

- 本機は涼しくて湿気がなく、なるべく温度が一定のところに保管してください。(推奨温度：15℃～25℃、推奨湿度：40%RH～60%RHです)
- カードは必ず本機から取り出してください。
- 長期間保管する場合、1年に1回は充電することをお勧めします。
- 本機を使用しない場合でも、バッテリーは少しずつ放電していきます。長時間使用しない場合、バッテリーの残量がなくなる場合があります。
- 押し入れや戸棚に保管するときは、乾燥剤(シリカゲル)と一緒に入れることをお勧めします。

収納ケース/ヘッドマウント/ゴムバンドをご使用中に肌に異常を感じたら、ご使用を中止してください。

個人情報について

Wi-Fi 機能を使用した場合、本機内に無線アクセスポイントの SSID やパスワードなどの個人情報が含まれます。

免責事項

- 個人情報を含む情報は、誤操作、静電気の影響、事故、故障、修理、その他の取り扱いによって変化、消失することがあります。
個人情報を含む情報の変化、消失が生じても、それらに起因する直接または間接の損害については、当社は一切の責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。

修理依頼または譲渡 / 廃棄されるとき

- 個人情報の控えを取ったあと、本機内にお客様が登録または設定した無線LAN接続設定等の個人情報を含む情報を「Wi-Fi 初期設定」を行って必ず消去してください。(P46)
 - メモリーカードは、本機より取り出してください。
 - 修理をすると、設定はお買い上げ時の状態に戻る場合があります。
 - 故障の状態により、本機の操作が困難な場合は、お買い上げの販売店までご相談ください。
- メモリーカードを譲渡 / 廃棄する際は、54 ページの「メモリーカードを廃棄 / 譲渡するときのお願い」をお読みください。

映像や画像のご利用について

- 映像や画像には、撮影日時など、個人を特定する情報が含まれる場合があります。よくご確認のうえ、ご利用ください。

microSD カードについて

- microSD カードのラベルに記載されているメモリー容量は、著作権の保護・管理のための容量と、本機やパソコンなどで通常のメモリーとして利用可能な容量の合計です。
- microSD カードに強い衝撃を与えたり、曲げたり、落としたりしないでください。
- 電気ノイズや静電気、本機や microSD カードの故障などにより microSD カードのデータが壊れたり、消失することがあります。

microSD カードにアクセス中（アクセスランプ点灯中）は、以下の動作を行わない

- － microSD カードを抜く
- － 電源を切る
- － USB 接続ケーブルを抜き差しする
- － 振動や衝撃を与える

メモリーカードを廃棄 / 譲渡するときのお願い

- 本機やパソコンの機能による「フォーマット」や「消去」では、ファイル管理情報が変更されるだけで、メモリーカード内のデータは完全には消去されません。
- 廃棄 / 譲渡の際は、メモリーカード本体を物理的に破壊するか、本機でメモリーカードを物理フォーマットすることをお勧めします。
物理フォーマットするには、メニューから「セットアップ」→「メディアフォーマット」→「はい」を選び、撮影開始 / 一時停止ボタンを約 3 秒間押し続けます。データ消去の画面が表示されますので、「はい」を選び、画面の指示に従ってください。
- メモリーカード内のデータはお客様の責任において管理してください。

取り扱い上のお願い

- カード裏の端子部にごみや水、異物を付着させない。
- 次のような場所に置かない。
 - － 直射日光の当たるところや暖房器具の近くなど温度が高いところ
 - － 湿気やほこりの多いところ
 - － 温度差の激しいところ（露付きが発生します）
 - － 静電気や電磁波が発生するところ
- 使用後は袋やケースに収める。

液晶モニターについて

- 液晶面が汚れたときや露付きが起こったときは、めがねふきのような柔らかい布でふいてください。
- 寒冷地などで本機が冷えきっている場合、電源を入れた直後は液晶モニターが通常より少し暗くなります。内部の温度が上がると通常の明るさに戻ります。

液晶モニターは、精密度の高い技術で作られていますが、液晶モニターの画面上に黒い点が現れたり、常時点灯（赤や青、緑の点）することがあります。

これは故障ではありません。

液晶モニターのドットについては 99.99%以上の高精度管理をしておりますが、0.01%以下でドット欠けや常時点灯するものがあります。また、これらのドットは映像には記録されませんのでご安心ください。

ファームウェアの更新について

本機のファームウェアをバージョンアップするには、アップデートファイルを microSD カードにコピーして本機に挿入し、セットアップメニューの「バージョンアップ」を行ってください。(P22)

バージョンアップについての最新情報は、下記サポートサイトでご確認ください。
<https://panasonic.biz/cns/sav/>

バッテリーについて

本機で使用するバッテリーは、充電式リチウムイオン電池です。このバッテリーは温度や湿度の影響を受けやすく、温度が高くなる、または、低くなるほど影響が大きくなります。

充電直後もバッテリーの使用時間が大幅に短くなったら、バッテリーの寿命です。お買い上げの販売店にご相談ください。

この装置は、クラス B 情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。

取扱説明書に従って正しい取り扱いをしてください。



VCCI-B

本機を廃棄するときのお願い

ご使用済みの製品の廃棄に際しては、Wi-Fi 初期設定 (P46) をしたあと、本機に内蔵している電池を取り出し、電池のリサイクルにご協力ください。電池の取り出し方については57 ページをお読みください。

- 取り出した電池はお早めにリサイクル協力店へご持参ください。

製品を廃棄するとき以外は絶対に分解しないでください。

 危険	<p>本機専用の充電式電池です この機器以外に使用しない 取り出した充電式電池は充電しないでください。</p> <ul style="list-style-type: none">●火への投入、加熱をしない●くぎで刺したり、衝撃を与えたり、分解・改造をしない●⊕と⊖を金属などで接触させない●ネックレス、ヘアピンなどと一緒に持ち運んだり保管しない●電子レンジやオープンなどで加熱しない●火のそばや炎天下など高温の場所で充電・使用・放置しない●水中への投入をしない <p>発熱・発火・破裂の原因になります。</p> <p>電池の液がもれたときは、素手でさわらない</p> <ul style="list-style-type: none">●液が目に入ったときは、失明のおそれがあります。目をこすらずに、すぐにきれいな水で洗ったあと、医師にご相談ください。●液が身体や衣服に付いたときは、皮膚の炎症やけがの原因になるので、きれいな水で十分に洗い流したあと、医師にご相談ください。
 警告	<p>取り外したねじなどは、乳幼児の手の届くところに置かない 誤って飲み込むと、身体に悪影響を及ぼします。</p> <ul style="list-style-type: none">●万一、飲み込んだと思われるときは、すぐに医師にご相談ください。

本機の使用電池

名称 : リチウムイオン (Li-ion) 充電式電池
公称電圧: DC 3.7 V

不要になった電池は、捨てないで充電式電池リサイクル協力店へご持参ください。

使用済み充電式電池の届け先

最寄りのリサイクル協力店へ

詳細は、一般社団法人 JBRC のホームページをご参照ください。

ホームページ <http://www.jbrc.com>



充電式

リチウムイオン

Li-ion00

電池使用

電池の取り出し方

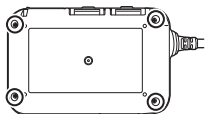
ご使用済み製品の廃棄の際は、Wi-Fi 初期設定をして本機のデータを完全に消去してください。

下記の図は、本機を廃棄するための説明であり、修理用の説明ではありません。分解した場合、修復は不可能です。

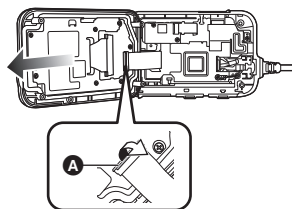
- 電池を使い切ってから分解してください。

1) 下図のねじ (4 本) を外す

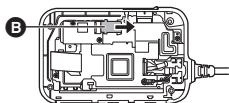
- プラスドライバー (市販) をお使いください。



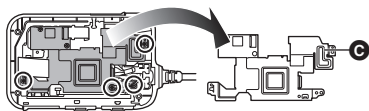
2) フレキシブル基板のコネクター (A) を外し、本機前面 (ボタン側) の基板をはがす



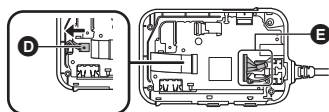
3) フレキシブル基板 (B) を抜く



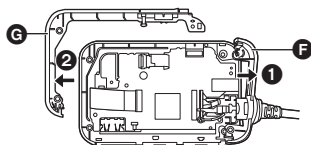
4) 下図のねじ (4 本) を外し、放熱板 (C) を外す



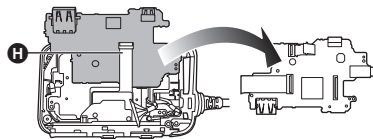
5) 内蔵バッテリーコネクター (D) およびカメラユニットのコネクター (E) を外す



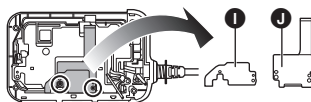
6) ケース (F) をずらしてからケース (G) を外す



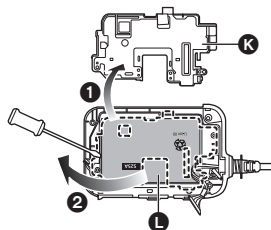
7) 基板を持ち上げ、フレキシブル基板 (H) を抜き、基板を外す



8) 下図のねじ (2 本) を外し、板金 (I) とカードホルダー (J) を外す



9) (K) を取り外した後、ドライバーを使ってバッテリー (L) を取り出す



使用済み充電式電池の取り扱いについて

- 端子部をセロハンテープなどで絶縁してください。
- 分解しないでください。

大事なお知らせ

著作権について

あなたが撮影（録画など）や録音したものは、個人として楽しむ以外は、著作権法上、権利者に無断で使用できません。個人として楽しむ目的であっても、撮影を制限している場合がありますのでお気をつけください。

-
- 本製品に付属するソフトウェアを無断で複製（コピー）したり、ネットワークに転載したりすることを禁止します。
-
- microSDHC ロゴは SD-3C, LLC の商標です。
 - HDMI, High-Definition Multimedia Interface、および HDMI ロゴは、米国およびその他の国における HDMI Licensing, LLC の商標または登録商標です。
 - “Wi-Fi CERTIFIED™” ロゴは、“Wi-Fi Alliance®” の認証マークです。
 - Wi-Fi Protected Setup™ 識別マークは、“Wi-Fi Alliance®” の認証マークです。
 - “Wi-Fi®” は “Wi-Fi Alliance®” の登録商標です。
 - “Wi-Fi Protected Setup™”、“WPA™”、“WPA2™” は “Wi-Fi Alliance®” の商標です。
 - その他、この説明書に記載されている各種名称、会社名、商品名などは各社の商標または登録商標です。
-

本製品は、AVC Patent Portfolio License に基づきライセンスされており、以下に記載する行為にかかわるお客様の個人的または非営利目的の使用を除いてはライセンスされておりません。

- (i) 画像情報を AVC 規格に準拠して（以下、AVC ビデオ）記録すること。
- (ii) 個人的活動に従事する消費者によって記録された AVC ビデオ、または、ライセンスを受けた提供者から入手した AVC ビデオを再生すること。

詳細については MPEG LA, L.L.C. ホームページ (<http://www.mpegla.com>) をご参照ください。

本製品は、以下の種類のソフトウェアから構成されています。

- (1) パナソニック株式会社（パナソニック）が独自に開発したソフトウェア
- (2) 第三者が保有しており、パナソニックにライセンスされたソフトウェア
- (3) GNU GENERAL PUBLIC LICENSE Version2.0 (GPL V2.0) に基づきライセンスされたソフトウェア
- (4) GNU LESSER GENERAL PUBLIC LICENSE Version2.1 (LGPL V2.1) に基づきライセンスされたソフトウェア
- (5) GPL V2.0、LGPL V2.1 以外の条件に基づきライセンスされたオープンソースソフトウェア

上記 (3) ~ (5) に分類されるソフトウェアは、これら単体で有用であることを期待して頒布されますが、「商品性」または「特定の目的についての適合性」についての黙示の保証をしないことを含め、一切の保証はなされません。詳細は、付属の別紙「Open Source Software Information」に記載のライセンス条件をご参照ください。

パナソニックは、本製品の発売から少なくとも3年間、以下の問い合わせ窓口にご連絡いただいた方に対し、実費にて GPL V2.0 または LGPL V2.1 に基づきライセンスされたソフトウェアに対応する完全かつ機械読取り可能なソースコードを、それぞれの著作権者の情報と合わせて提供します。

問い合わせ窓口： oss-cd-request@gg.jp.panasonic.com

また、これらソースコードおよび著作権者の情報は、以下のウェブサイトからも自由に無料で入手することができます。

<https://panasonic.net/cns/oss/index.html>

写真の記録可能枚数の目安

microSD カードは主な記録容量のみ記載しています。記載している枚数は記録可能枚数の目安です。


記録画素数	画像 横縦比	microSD カード			
		4 GB	8 GB	16 GB	32 GB
8.3M (3840×2160)	16:9	750	1500	3000	6000
2.1M (1920×1080)		3200	6000	12500	25000

- 撮影される被写体によっては、写真の記録可能枚数は変動します。


記録可能時間の目安

microSD カードは主な記録容量のみ記載しています。記載している時間は連続記録可能時間の目安です。

通常撮影モード

	画素数 / フレームレート	転送レート (VBR)	microSD カード			
			4 GB	8 GB	16 GB	32 GB
 高画質 長時間	1920×1080/60p	最大 28 Mbps	約 19 分	約 40 分	約 1 時間 20 分	約 2 時間 40 分
	1920×1080/30p	平均 15 Mbps	約 35 分	約 1 時間 10 分	約 2 時間 20 分	約 4 時間 40 分
	1280×720/60p					
	1280×720/30p	平均 9 Mbps	約 1 時間	約 2 時間	約 4 時間 10 分	約 8 時間 20 分
	848×480/30p	平均 4.5 Mbps	約 1 時間 50 分	約 3 時間 40 分	約 7 時間 30 分	約 15 時間

スローモーションモード

	画素数 / フレームレート	転送レート (VBR)	microSD カード			
			4 GB	8 GB	16 GB	32 GB
 高画質 長時間	1920×1080/60fps	平均 15 Mbps	約 15 分	約 30 分	約 1 時間	約 2 時間
	1280×720/120fps	平均 9 Mbps	約 13 分	約 27 分	約 55 分	約 1 時間 50 分
	848×480/240fps	平均 4.5 Mbps				

- お買い上げ時の設定は 1920×1080/30p です。
- 動きの激しい被写体を記録したり、短い動画の撮影を繰り返すと、記録可能時間が短くなる場合があります。

仕様

ウェアラブルカメラ

電源：

- 3.7 V (バッテリー使用時)
- 5.0 V (USB モバイル電源使用時)

消費電力：

- 録画時：3.9 W
- 充電時：5.3 W (AC アダプター使用時)

動画記録方式*1：

MPEG-4 AVC ファイル規格準拠 (.MP4)

- 記録画素数、記録可能時間、転送レートについては 60 ページをお読みください。

映像圧縮方式：

MPEG-4 AVC/H.264

音声圧縮形式：

AAC

写真記録方式*1：

JPEG (DCF/Exif2.2 準拠)

- 記録画素数、記録可能枚数については 59 ページをお読みください。

記録メディア：

microSD カード (512 MB/1 GB/2 GB)、
microSDHC カード (4 GB/8 GB/16 GB/
32 GB)

撮像素子：

1/2.3 型 MOS 固体撮像素子

総画素：約 1276 万

有効画素

動画：約 608 万 (16:9) *2

写真：約 599 万 (16:9) *3

レンズ：

F2.8 (f = 3.4 mm)

画角：最大約 110° *2

最短撮像距離：約 50 cm

シャッター速度：

動画：1/30 ~ 1/12000

写真：1/8 ~ 1/12000

ブレ補正：

電子式ブレ補正

- * 1. 「記録スクランブル設定」が「スクランブルオフ」のとき
- * 2. 通常撮影モードで「画角切換」が「ワイド」のとき
- * 3. 写真撮影モードで「画角切換」が「ワイド」のとき

モニター：

1.5 型液晶モニター (約 11 万ドット)

マイク：

モノラル

最低照度：

約 6 lx

カラーナイトビュー時 約 1 lx

HDMI マイクロ端子映像出力：

HDMI™ 1080p/1080i/480p

ヘッドホン出力：

ステレオミニジャック

HDMI マイクロ端子音声出力：

LPCM

マイク入力：

- 36 dBV (ステレオミニジャック)

USB：

normal-A 端子 (拡張用)、
バッテリー充電機能

外形寸法：

カメラ部：

幅 26.5 mm × 高さ 26.5 mm × 奥行き
68.5 mm

本体部：

幅 62 mm × 高さ 94.0 mm × 奥行き
26.7 mm

本体質量：

カメラ部：約 31 g (ケーブル除く)

本体部：約 131 g

使用時質量：

約 193 g (microSD カード含む)

許容動作温度：

0 °C ~ 40 °C

許容相対湿度：

10%RH ~ 80%RH

防水 / 防じん性能：

IP58 相当 (カメラ部のみ)

バッテリー持続時間：

15 ページをお読みください。

ワイヤレス転送部：

準拠規格 : IEEE802.11b/g/n
使用周波数範囲：中心周波数
2412 ~ 2462 MHz [11ch]
暗号化方式 : Wi-Fi 準拠 WPA™/WPA2™/
WEP
アクセス方式 : インフラストラクチャーモード

本製品（付属品を含む）に表示の記号は以下を示しています。

～	AC（交流）
≡	DC（直流）
□	クラスⅡ 機器（二重絶縁構造）
I	ON
⏻	スタンバイ

保証とアフターサービス (よくお読みください)

故障、修理、お取り扱いなどのご相談は、まず、お買い上げの販売店へ、お申し付けください。

お買い上げの販売店がご不明の場合は、当社（裏表紙）までご連絡ください。

※ 内容により、お近くの窓口をご紹介させていただく場合がございますので、ご了承ください。

■ 保証書（本書に付属）

お買い上げ日・販売店名などの記入を必ずお確かめのうえ、お買い上げの販売店からお受け取りください。内容をよくお読みいただいたうえ、大切に保管してください。万一、保証期間内に故障が生じた場合には、保証書記載内容に基づき、無料修理させていただきます。

保証期間：お買い上げ日から本体1年間

■ 補修用性能部品の保有期間 **5年**

当社は、このウェアラブルカメラの補修用性能部品を、製造打ち切り後5年保有しています。

※ 補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

■ 保守・点検

- 保守・点検は機器の機能を常に良好な状態に維持し、お客様が安心してご使用していただくためのものです。
- 部品の劣化、ごみ、ほこりの付着などにより突発的な故障、トラブルを未然に防ぐとともに、安定した機能、性能の維持のために、定期的な保守・点検を行ってください。
- 保守・点検（有料）についての詳しい内容は、お買い上げの販売店にご相談ください。
- 修理、保守、点検時には、情報漏えいしては困る本体設定情報はあらかじめ削除し、microSD カードを外して、ご依頼ください。

修理を依頼されるとき

この取扱説明書を再度ご確認くださいのうえ、お買い上げの販売店までご連絡ください。

■ 保証期間中の修理は・・・

保証書の記載内容に従って、修理させていただきます。詳しくは、保証書を参照してください。

■ 保証期間経過後の修理は・・・

修理により、機能、性能の回復が可能な場合は、ご希望により有料で修理させていただきます。

ご連絡いただきたい内容	
品名	ウェアラブルカメラ
品番	AG-WN5K1
製造番号	
お買い上げ日	
故障の状況	

さくいん

英字

AC アダプター	11、14
HDMI 出力解像度	21
HDMI マイクロ端子	36
MAC アドレス	46
microSD カード	16、54
MP4	12
PIN 入力	39
SD スピードクラス	16
SSID	37、42、44
USB モバイル電源	14、23
Wi-Fi 初期設定	46
Wi-Fi 送信部	13
Wi-Fi モード選択	44
WPS	37

あ行

相手先 IP 設定	43
アクセスポイント設定	39
アクセスランプ	17、54
液晶明るさ調整	21
液晶パワーセーブ	20
液晶モニター	13、54
お手入れ	52

か行

画角切換	33
画角モード	33
風音低減	35
画素数 / フレームレート	32
カメラ詳細設定	46
カメラの装着	23
画面表示	47
カラーナイトビュー	34
間欠写真記録	33
かんたん接続 (WPS)	39
逆光補正	34
記録可能時間	60
記録可能枚数 (写真)	59
記録スクランブル設定	35
ゴムバンド	11、27

さ行

撮影可能時間	15
撮影経過時間	29
撮影モード選択	31
自動電源オフ	20
写真撮影モード	31

シャッタースピード	35
充電	14
充電時間	15
収納ケース	11、23
修復	49
情報表示画面	30、47
初期設定	21
スローモーションモード	31
設定値反映	22
設定値保存	22

た行

タイムスタンプ	20
通常撮影モード	31
露付き	12
電源ランプ	16、18
時計設定	18

な行

残り記録可能時間	29
残り記録可能枚数	29

は行

バージョンアップ	22、55
バージョン表示	22
廃棄	56
バッテリー	14、55、56
バッテリー残量表示	15
番号リセット	22
ファームウェア更新	55
フォーマット	21
ブレ補正	33
ヘッドセット	45
ヘッドバンド	28
ヘッドホン音量	45
ヘッドマウント	11、26
防水・防じん	10
ホワイトバランス	34

ま行

マイク	35
マルチマウント	28
メディアフォーマット	21
メニュー	19
文字入力	41

ら行

リセットボタン	13
ロック機能	30

パナソニック株式会社

コネクティッドソリューションズ社

〒571-8504 大阪府門真市松生町1番15号 ☎ (06)6901-1161

© Panasonic Corporation 2016

<無料修理規定>

- 取扱説明書、本体貼付ラベル等の注意書きに従った使用状態で保証期間内に故障した場合には、無料修理をさせていただきます。
- 無料修理をご依頼になる場合には、商品に取扱説明書から切り離した本書を添えていただきお買い上げの販売店にお申しつください。
- 保証期間内でも次の場合には原則として有料にさせていただきます。
 - (イ) 使用上の誤り及び不当な修理や改造による故障及び損傷
 - (ロ) お買い上げ後の取付場所の移設、輸送、落下等による故障及び損傷
 - (ハ) 火災、地震、水害、落雷、その他天災地変及び公害、塩害、ガス害（硫化ガスなど）、異常電圧、指定外の使用電源（電圧、周波数）などによる故障及び損傷
 - (ニ) 他の接続機器及び接続部材に起因して生じた故障及び損傷
 - (ホ) 一般使用環境以外（例えば、強震、高温などの場所）に使用された場合の故障及び損傷
 - (ヘ) 取扱説明書に指定する磨耗性の部品、あるいは付属品の故障及び損傷
 - (ト) 本書のご提示がない場合
 - (チ) 本書にお買い上げ年月日、お客様名、販売店名の記入のない場合、あるいは字句を書き替えられた場合
 - (リ) 持込修理の対象商品を直接修理窓口へ送付した場合の送料等はおお客様の負担となります。また、出張修理等を行った場合には、出張料はおお客様の負担となります。
- 故障、その他により正常に記録できなかった場合のデータ補修・記録内容の補償、及び営業上の機会損失等の損害に対する補償は致しかねます。また本機を修理した場合においても同様です。
- 本書は日本国内においてのみ有効です。
- 本書は再発行いたしませんので大切に保管してください。

修理メモ

※お客様にご記入いただいた個人情報（保証書控）は、保証期間内の無料修理対応及びその後の安全点検活動のために利用させていただきます。場合がございましたらご了承ください。

※この保証書は、本書に明示した期間、条件のもとにおいて無料修理をお約束するものです。従ってこの保証書によって、保証書を発行する者（保証責任者）、及びそれ以外の事業者に対するお客様の法律上の権利を制限するものではありませんので、保証期間経過後の修理についてご不明の場合は、お買い上げの販売店にお問い合わせください。

※保証期間経過後の修理や補修用性能部品の保有期間については、取扱説明書をご覧ください。

※This warranty is valid only in Japan.

Panasonic

持込修理

ウェアラブルカメラ保証書

本書はお買い上げの日から下記期間中故障が発生した場合には本書裏面記載内容で無料修理を行うことをお約束するものです。ご記入いただきました個人情報の利用目的は本書裏面に記載しております。お客様の個人情報に関するお問い合わせは、お買い上げの販売店にご連絡ください。詳細は裏面をご参照ください。

品番	AG-WN5K1		
保証期間	お買い上げ日から 本体 1年間		
※ お買い上げ日	年	月	日
※ お客様	ご住所 _____ お名前 _____ 様 電話 () —		
※ 販売店	住所・販売店名 _____ 電話 () —		

パナソニック株式会社

コネクティッドソリューションズ社

〒571-8504 大阪府門真市松生町1番15号 TEL (06) 6901-1161

ご販売店様へ ※印欄は必ず記入してお渡しく下さい。

